多賀工業会千葉県支部会報

茨城大学工学部　61 号

（千葉市稲毛区稲毛１丁目　旧神谷傳兵衛稲毛別荘）

多賀工業会千葉県支部

令和５年４月５日発行

目次（令和５年度の行事予定）

挨　　拶	会報 61 号発刊に寄せて	3 頁	支部長　　富田 宣吉
総会案内	令和 5 年度第 50 回総会・開催案内	4 頁	幹事長　　千代 和彦
	総会：令和 5 年 5 月 20 日（土）（於）船橋市中央公民館		
総会資料	議案書	5 頁	幹事長　　千代 和彦
	決算報告・予算案	6 頁	会計幹事　富田 宣吉
総会報告	令和 4 年度第 49 回総会報告	7 頁	幹事長　　千代 和彦
寄　　稿	防災と気象	13 頁	富田 宣吉
	サラリーマン時代の想い出	15 頁	富田 宣吉
	国内旅行回想記	17 頁	綿引 貞男
	海外旅行記	22 頁	矢嶋 國男
	五木寛之の世界	29 頁	塚越 要夫
	今月は養老孟司です	30 頁	塚越 要夫
	我が闘病記-81 歳、三途の川からの生還	31 頁	高崎 芳紘
	日本の絵師達の歩み（その４）	39 頁	佐藤 隆義
	万歩会の想い出	45 頁	檜山 邦良
囲　　碁	囲碁会の活動報告と今後の予定 第 87 回　4 月 25 日（火）会場 船橋中央公民館 第 88 回　7 月 25 日（火）　同上 第 89 回 10 月 24 日（火）　同上 第 90 回 令和 6 年 1 月 23 日（火）　同上	51 頁	囲碁会長　佐藤 隆義
史跡・万歩	史跡・万歩会の活動報告	53 頁	史跡万歩会長 千代和彦 副会長　　萩野谷道雄
	史跡・万歩会同好会の解散が令和 4 年 11 月 16 日の幹事会で承認された 理由：参加者の高齢化及び激減と会長・副会長の高齢化と体力の衰え 後継者不在		
ゴ ル フ	ゴルフ会の活動報告	55 頁	前ゴルフ会長　富田宣吉
近況報告	会員近況報告	56 頁	支部長　　富田 宣吉
会費納入者	令和 4 年度会費納入者	59 頁	会計幹事　　富田 宣吉
役員一覧表	支部役員・役割・連絡一覧表	60 頁	広報　　金坂 潤

支部会報第６１号発刊に寄せて

支部長　　富田　宣吉（昭３７学化）

支部長に就任して１年が経過し、全体の状況を把握出来る様になりました。

今年の目標は、昨年同様支部の活性化に注力したいと考えています。

その具体策として

１．３０～４０歳代の工学部卒業生を対象に、千葉県支部への入会を呼びかける。

２．多賀工業会本部との連携緊密化を図る。

３．他支部との情報交換を促進する。

４．幹事が高齢化しているため、幹事の若返りを図る。

他大学のＯＢの方にも伺いましたが、多賀工業会のように組織的に活動している例は少なく、気の合った仲間と少数の仲間で趣味などを通じて懇親を深めている事例が大半でした。現代はテレビ、スマホ、パソコンなどの普及により情報の入手が容易であり、このような環境の変化が支部が設立されない遠因ではないかと思いました。

防災学科の新設について、乾工学部長と情報交換しました。しかしながら工学部の経済状況は厳しく、検討中との事です。このことは他の大学でも同様で、文部科学省の緩和措置が無い限り学科の新設は難しいものと思われます。

令和５年度第 50 回千葉県支部総会の開催案内

幹事長　　千代和彦（昭 40 学精）

１．開催日時　　令和５年５月２０日（土曜日）１３時～１４時３０分

２．会　場　　船橋市中央公民館（第五集会室）

・住所：〒273-0005　千葉県船橋市本町２町目２-５
TEL：047-434-5551

・JR 総武線　船橋駅（南口）から徒歩 10 分
京成線　京成船橋駅から徒歩 5 分

３．スケジュール（１）受　付　　１２：３０～１３：００
（２）総　会　　１３：００～１４：００
（３）写真撮影　　１４：００～１４：３０
（４）懇親会　　開催保留

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、出席者は千葉県支部会員のみとする。又、懇親会の開催は参加者の要望並びにコロナ感染拡大状況等で判断します。総会自体も新型コロナウイルス感染拡大の影響で場所・日程の変更又は中止の可能性があります。変更の際は、郵便・電話又はＥメール等にて出席予定者へご連絡申し上げます。従って総会参加希望者は事前に幹事長（千代和彦）までご連絡ください。

幹事長（千代和彦）:連絡先
住所　〒273-0046　船橋市上山町　　電話：047-439-7317
Ｅメールアドレス：cbm06890@njfty.com

会場案内図

第 50 回　千葉県支部総会資料（議案書）

第 1 号議案　令和４年度事業報告（令和 4 年 3 月 1 日～令和 5 年 2 月 28 日）

（1）第 49 回総会:令和 4 年 5 月 21 日（土）船橋市中央公民館（第九集会室）
（2）本部理事会：メールにて開催
（3）幹事会　：令和 4 年 3 月 11 日：船橋市中央公民館にて開催
：令和 4 年 4 月 8 日：全日警ホール（本八幡）にて開催
：令和 4 年 9 月 14～30 日（E メールにて会議）
：令和 4 年 11 月 16 日：令和 5 年 2 月 9 日：船橋市中央公民館で開催
（4）新年会　：中止（新型コロナウイルス感染拡大のため）
（5）支部交流：中止（同上）
（6）事業報告：（イ）囲碁同好会及び（ロ）史跡・万歩会は活動中止
（新型コロナウイルス感染拡大のため）
（ハ）ゴルフ同好会：三支部対抗ゴルフ大会実施

第 2 号議案　令和４年度決算報告及び会計監査報告　承認依頼の件

第 3 号議案 令和 5 年度事業計画案（令和 5 年 3 月 1 日～令和 6 年 2 月 29 日）

（1）第 50 回総会：令和 5 年 5 月 20 日（土）船橋市中央公民館会議室で開催
（2）本部理事会：未確定
（3）幹事会　　：令和 5 年 3 月、4 月、9 月、11 月、令和 6 年 2 月
（4）新年会　　：令和 6 年 1 月　未定
（5）他支部間の交流：未定
（6）事業活動：囲碁同好会、ゴルフ同好会：各事業の活性化を図る
＊史跡・万歩会の解散（令和 4 年 11 月 16 日の幹事会で承認済）

第４号議案　令和 5 年度予算案の承認依頼の件

第５号議案

（1）支部役員・役割の見直し
・穂坂邦光：会計・囲碁副会長　→　顧問
・千代和彦：幹事長兼万歩会会長 →　幹事長
・萩野谷道雄：万歩会副会長　　→　幹事

第 6 号議案　その他

資料－Ⅰ　令和４年度決算及び会計監査（令和４年３月１日～令和５年２月 28 日）

収入の部　（円）				支出の部　（円）			
科目	予算	実績	備考	科目	予算	実績	備考
前年度繰越金	347,646	347,646		総会費	10,000	0	
総会費収入	0	0		新年会費	0	0	
新年会費収入	0	0		会報製作費	75,000	73,700	
本部助成金	51,300	51,300		通信連絡費	30,000	33,294	うち会報送料 15,708
年会費収入	120,000	120,000		事業費	15,000	10,692	
雑収入	0	0		会議費	40,000	34,300	
寄付金	0	11,000		支部交流費	10,000	0	
				事務・雑費	10,000	33,417	
				予備費	328,946	344,543	
計	518,946	529,946		計	518,946	529,946	

令和５年３月１日　　監査の結果、誤りのないことを認めます。

監事　　高橋　孝雄　　印

監事　　綿引　貞男　　印

資料－Ⅱ　令和５年度予算（案）（令和５年３月１日～令和６年２月 29 日）

収入の部　（円）				支出の部　（円）			
科目	前年実績	予算	備考	科目	前年実績	予算	備考
前年度繰越金	347,646	344,543		総会費	0	0	
総会費収入	0	0		新年会費	0	0	
新年会収入	0	0		会報製作費	73,700	75,000	
本部助成金	51,300	51,300		通信連絡費	33,294	34,000	うち会報送料 16,000
年会費収入	120,000	120,000		事業費	10,692	20,000	
雑収入	0	0		会議費	34,300	35,000	
寄付金	11,000	15,000		支部交流費	0	5,000	
				事務・雑費	33,417	34,000	
				予備費	344,543	327,843	
計	529,946	530,843		計	529,946	530,843	

令和４年度第４９回多賀工業会千葉県支部総会報告

幹事長　千代和彦（昭４０学精）

１　概要

令和 4 年度第 49 回多賀工業会千葉県支部総会は令和 4 年 5 月 21 日（土）の午後 1 時 00 分～２時 30 分「船橋市中央公民館（第九集会室)」にて開催しました。

今回の総会も新型コロナウイルス感染防止の観点より、出席者は千葉県支部会員のみとしました。幹事を含め 12 名の支部会員が出席しました。

萩野谷幹事（昭 41 学機）の司会により進行、富田支部長代理（昭 37 学化）挨拶の後、佐藤副支部長（昭 40 学化）を議長に選出して総会議事内容を審議しました。全議案は原案どおり承認されました。議事終了後、富田新支部長からの支部長就任の挨拶、高崎前支部長からの挨拶並びに出席者最年長の草刈董会員（昭 24 専舶）の挨拶をいただきました。司会の萩野谷幹事により閉会し、参加者の集合記念撮影を行い議事を終了しました。この後、別会場にて懇親会を実施しました。

２　総会：議長の佐藤副支部長により、下記の議案を審議しました。

〈議案〉

(1) 第 1 議案：令和 3 年度事業報告：同好会活動報告（囲碁の会、史跡万歩会、ゴルフの会)
(2) 第 2 議案：令和 3 年度決算報告と会計監査報告
(3) 第 3 議案：令和 4 年度事業計画案
(4) 第 4 議案：令和 4 年度予算案
(5) 第 5 議案：「支部長交代の承認を得る」及び「一部役員の改選報告」
(6) 第 6 議案：その他（発言なし）

以上、全議案は提案通り承認されました。

【富田支部長代理の総会時の挨拶】

37 年化学卒の富田です。よろしくお願いします。

昨年の 10 月に高崎さんが急に病気になられたので、臨時に支部長代理ということで、半年間やらせてもらいました。

(1) 今年の課題として支部の活性化、これは未だ解決しておりません。

この 4 月に 60～70 歳くらいの 90 人程の人に葉書を出しました。10 名程返事がありましたが、多賀工業会に入りますという人はおりませんでした。総会にも出ませんという人ばかりで、活性化が達成されておりません。

私が考えております活性化の秘訣として、一つには、同じ会社にいたとか、同じ高等学校卒業者の若い人で話しやすいとか、同じ町内会であるとか、こういう人をめがけて10人程、また60〜70歳くらいの人には個別にコンタクトを取ろうとしております。

私は前に旭硝子におりましたが、旭硝子には1名か2名ぐらい参加すると思う人がいます。高橋さんや市村さんは若い時から親しく年会費もずっと納めていただいていますが、私より年配の人を誘うことはやめようと思います。やはり60〜70歳くらいの人に強くコンタクトしようと思っています。そうすると、会費をいつもいただいている中村さん、この方は旭硝子にいて、私よりも10歳くらい若いので、コンタクトしようと思います。今可能性のある人はこの人一人です。

それから、私と同じ高等学校で、この千葉に住んでいて、茨城大学工学部を出ている人を探し出し強くお願いしようと思っています。誰が千葉にお住まいなのか分かりませんので、これから名簿で探そうと思っています。これは高等学校のルートです。同じ町内会に永峯さん（昭40学電）という人がいるのですが、散歩のついでに寄ってみたら、もう目が見えないので外に出られないと言うので、どうしようもないと思いました。この方は千葉県の工業高等学校の校長をやられた方で、人柄的にも立派な方だと思います。

こういうことを同じ職場の後輩とか、同じ高校の後輩とか、町内会とか近くに住んでいる人とか、何とか探し出して役員の若返りを図りたいと思います。

(2)それから会費、財政がそれほど豊かでなく、千葉県支部も困っております。

この対策としては、会費納入をお願いしますというのは、もう再々送っておりますけれども効果が上がりません。今日の時点で、会費納入された方は約50名です。これから1，2ケ月の間、振込が続くのでしょうから、60名行くかどうかと思います。

他支部の経済状況を見ますと、企業の寄付金が多いのです。例えば水戸勝田支部とか日立総合とか東京支部もそうですが、静岡とか北九州支部も同様ですね。この辺は企業に卒業生が就職しているものですから、うまい具合に寄付が集まっているわけです。

ところが千葉県の場合はそれがないので、私は個人的に付き合いがある企業に寄付をお願いしようと思っております。

(3)昨年の11月ですが、日立の本部を訪問しまして、杉田会長とお話をしました。

第一の目的は、補助金がこの頃減っていますが増やす方法はないですかとお伺いしたら、従来は卒業の時に会費をおさめてもらっていたが今は入学時に会費を徴収することにしたと答えられました。補助金の額については正式な返事は来ておりません。今、補助金が年間55,000〜58,000円くらいです。これがなにがしか

増えれば良いと思っております。
(4)ただ、皆さんご存知と思うのですが大学もなかなか苦しいのですね。
今、大学の先生をある期間雇用して成果が出なければ辞めていただくというので、例えば東大でも２、３千人辞めさせられる人がいるのですね。各大学も同じで、新聞を見た範囲では、東大では２千～３千人の間ぐらいとなっていますから、茨城大学も何十人かいるだろうと思います。
そういう財政の大変な時だから、新しい学部を作ってはどうかと提案しているのです。これは杉田会長経由でお話していたのですが、今は乾工学部長に話が移りまして、乾先生と私でやり取りしております。それで、杉田会長にお伺いしたところによりますと、今度は乾先生から詳細な資料が届きました。それを見たら都市工学なのです。街を作る、都市を作る、そういう中に防災の機能も持たせようというものであります。
乾先生の資料を見ますと、教える教科の中にいろいろな資格試験―主任技術者とか取扱主任者とか。私は、そのような資格は必要な人が会社に入ってから取れば良いのではないか、大学、大学院で教えるようなものではないと思うと混ぜ返しております。それより防災のほうが大事ではないかと。
ところで私も会報に連載で書いていますが、私の提案している防災というのは、非常に広範囲に及ぶわけです。機械関係はもちろん、水利工学とか、地質学とか、地球の外を回っている対流とか大気の循環まで。それで乾先生はこれはやれないと思っているのではないかと思うのです。それで学部でないなら、せめて防災研究センターのようなものにして、各企業とか大学とか筑波の研究室などからOBの方など雇ってはどうか、という提案をしようと思っております。そのようなことを今やっております。

【富田新支部長の挨拶】

今度支部長に選任された富田です。よろしくお願い申し上げます。
私は、なんとか会の活性化をしたい。特に他支部の情報を集めてなんとかしたい。原田先輩から始まってずっと続いてきた支部長の役目を行っていきたいと思っております。それには皆様のご協力をいただくのが第一番ですので、どうぞよろしくお願いいたします。

【高崎前支部長の挨拶】

前支部長の高崎です。ほんの数ヶ月の支部長でしたが、皆様にご迷惑をおかけしました。また、いろいろとありがとうございました。
私は昨年の 8 月 4 日に深夜の 12：30 頃に突然気分が悪くなって、そのまま緊

急入院して、退院したのが 3 月 16 日。約 7 ヶ月間の闘病生活です。その間、倒れて意識不明になって、女房と娘が相談して、もうお父さんだめですよ。家族葬にするかどのようにするか、葬儀の場所をどこにするか、泣きながら検討していたと聞きました。

実は倒れた時、体重が 68 kgあったのが、倒れて 20 日間位して 48 kg。20 kg減少というのは大変な体力の消耗でして、一つは極端な筋力の低下、それから肉が削げ落ちました。従って、骨皮筋衛門の状態になり、今やっと 55 kgぐらいに戻ってきました。標準体重としたら 59 kgくらいまで戻してほしいという話です。

以下詳細は、「我が闘病記―８１歳、三途の川からの生還」（ページ 31～）を参照

もう一つ、この間に多賀工業会の理事会が秋口にある予定であったのですね。そこから 3 回要請が来まして、参加しようと思ったところが倒れたということで、その時に理事会には支部長交代ということで連絡したのですけれども、理事会には支部長の承認権限はないのですね。この総会に承認権限があるのです。

私は勘違いをしていまして、支部長を辞任する旨の報告だけをしたのですけれども、それは単なる報告だけであって実質的なものではなかったということです。富田さんに支部長をといったわけですけれども実は代行でして、富田さんに今日までいろいろやってもらったという状態です。

それで、その間私の頭のほうは何とか大丈夫なのです。囲碁はインターネットで 7 段でずっと打っていました。退院してからも毎日ネットで碁を打っているのですけれども、今 6 段の上のほうですね。 7 段にいくとすぐ下がってしまう。たぶん体力がない為だと思いますが、若干、頭の方も退行しています。

そういうことで、これからも私はできるだけ体力の続く限り協力しますので、よろしくお願いします。それから来年の会報に私の闘病記ということで、投稿文を作成したいと思いますので、もし会報でよろしかったら私の投稿を掲載して下さい。よろしくお願いします。

【草刈会員からの挨拶】

大先輩と言われてしまいましたね。富田さんが先ほど原田正夫先輩のことを申し上げて、私も、非常に親しいというのでしょうか、そういう関係がありましたね。この同窓会は、本当に何と言うか、原田さんの時から来ておりますのでね。・・・

房州の館山なんていうと、とんでもないところにあるのですけれどね。やはり忘れられないで、こうして参ったわけでございます。

私はふるいかも知れないですが、昭和 24 年に（多賀工専）舶用機関科を卒業しましてね。それから 2 年ほど中学校の先生をやりましてね。その後、池貝鉄工の鉄工所の疎開工場でね。エンジンを作るということで。後に富士ディーゼルとい

う名前になりましたけれども、1000 人程の従業員の規模の工場ですけれども、結構良いエンジンを作っていましてね。競争相手は石川島播磨重工、それから日本鋼管、富士ディーゼル、この 3 社がピルスティクの、フランスのライセンシーの非常に良いエンジンですけど、これなんか争い作りましてね。そんなことがあって私もエンジニアというよりも「現場育ち」というのでしょうか。現場の方が良いので、そっちのほうでガリガリやったような次第でございます。

今は退社しまして、色々有りましたけれども。面白いことをやっております。家庭倫理の会というのがありましてね。東京の方に倫理研究所がございます。私は今それの方の、倫理研究所の…何と言いますか、生活倫理相談員士というのがあるのですよ。試験受けてなるのですが、皆様の生活におけるいろいろな困難なことについて指導するというよりも、お話を伺って良い方向にもって行くというような相談士でございますのでね…そんな役とか。

あるいは書道、それから短歌つくりね、これの方の講師と。試験がやはりありましてね。これも講師の資格を取りましてね。千葉県にあっちこっち会場がありますので、そこを回って、教えるというより一緒に勉強をしているという方が良いかなと思うのですが。そんなことをさせてもらっております。

それと 92 歳になるのですが、体の方は別に悪いところがないものですから、おかげさまでと思っておるのですが。陸上競技を高校の時からやってましたものですから、これがずっと細く長く続いていましてね。50 歳から館山の方で「若潮マラソン」というのを始めましてね。これが 50 歳からずっと毎年参加して完走しています（40 回)。そういうことが積み重なって体が丈夫なのかと思うのですが、現在、千葉県マスターズの現役選手でやっております。

つい先日の 4 月 29 日に千葉マスターズ選手権大会がございまして。これにも参加させていただいてね、3000m競走もやりましてね、24 分 11 秒というのだから、キロ当たり約 8 分。8 分なんてと言うと笑っちゃう程のトコトコ駆けるんですが。トコトコでもとにかく 1 キロ 8 分のスピードで駆けましたら、千葉県の大会の新記録を作ってしまいましてね。驚いております。

8 月 7 日の日には、千葉県で関東大会を引き受けたから、これにも参加して、今の希望では 1500m で走らせてもらって千葉県の新記録を作っていきたい、そんなことを思っております。

とにかく生きているといえることが楽しいというか、もう一日一日が楽しさでいっぱいと。生きているだけでも本当に素晴らしいことだという心境でおります。以上です。

＜令和４年度第４９回多賀工業会千葉県支部総会集合写真＞

出席者

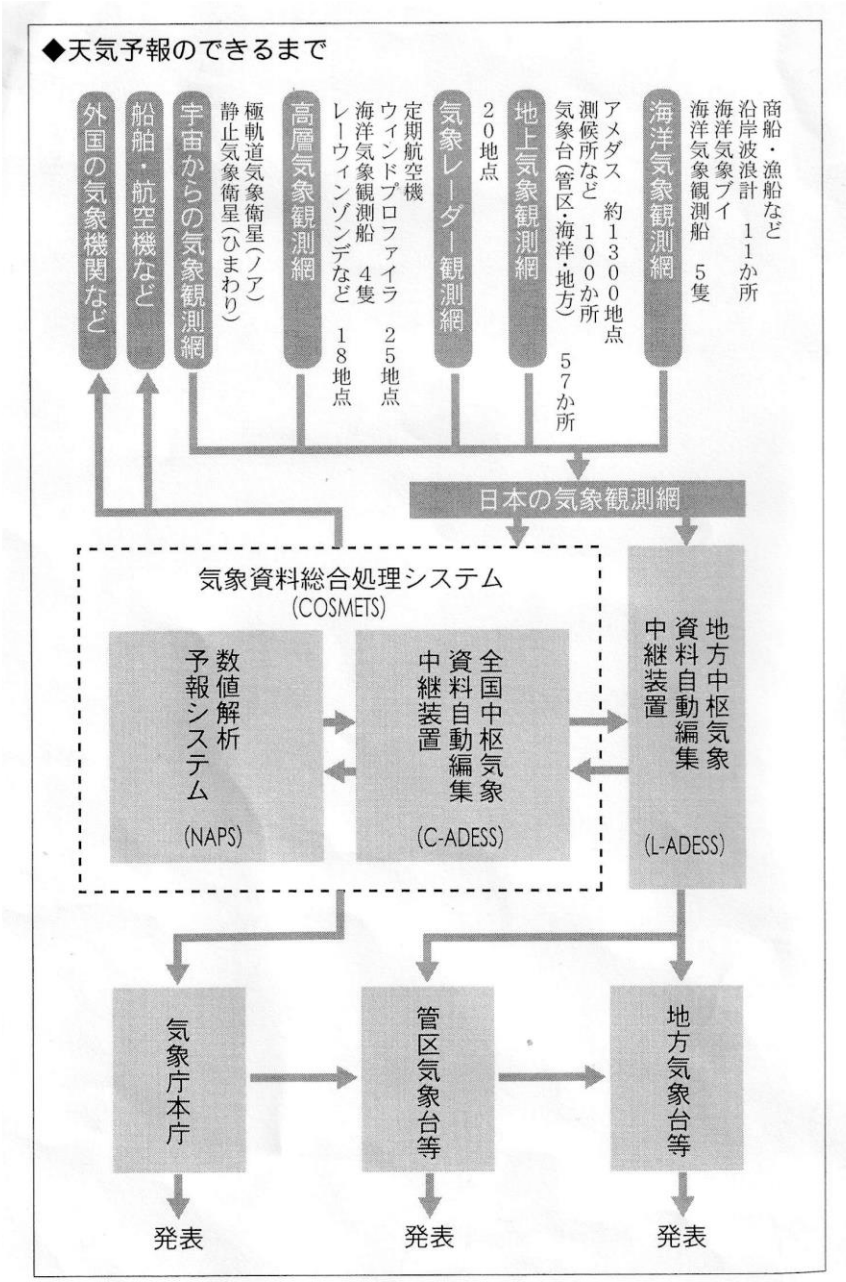
写真後列（左側から）	金坂　潤	昭 47 学電	千葉市
	兼子　八郎	昭 38 学電	横浜市
	高橋　邦彦	昭 41 学機	柏市
	萩野谷道雄	昭 41 学機	佐倉市
	佐藤　隆義	昭 40 学化	袖ケ浦市
	千代　和彦	昭 40 学精	船橋市
写真前列（左側から）	富田　宣吉	昭 37 学化	千葉市
	穂坂　邦光	昭 32 学金	松戸市
	草刈　董	昭 24 専舶	館山市
	高橋　孝雄	昭 34 学電	浦安市
	高碕　芳紘	昭 39 学電	柏市
	綿引　貞男	昭 38 学電	船橋市

防災と気象

富田　宣吉（昭３７学化）

災害を齎（もたら）す気象現象として台風、水害、地震、津波、山崩れ、噴火などがある。気象観測については明治８年から開始され技術改良を重ね今日のレベルに至っている。昭和３１年から気象庁として運輸省の外局としてスタートした。防災にとって気象情報は極めて重要である。

次の図に「天気予報のできるまで」の関連図を示した。



各観測網から最も身近な「アメダス」「ひまわり」について設置場所と測定項目について解説する。

アメダス：地上に設置　（国内に１３００箇所）

測定項目：降水量、気温、日照、風向、日照、風向、風速、積雪深さ

ひまわり：赤道上空の静止衛星

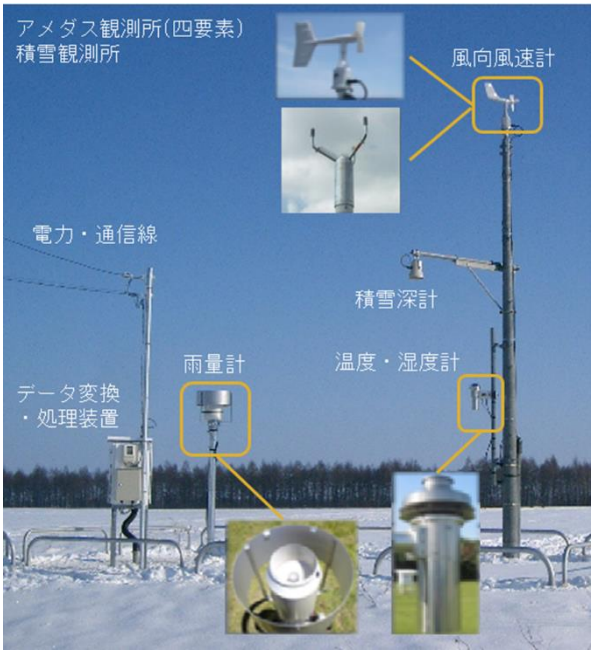
測定項目：雲の分布、高さ、形、移動状況、上空の風向、風速
地表の温度分布、台風、前線、低気圧の動きと発達状況

各観測網からのデータ及び外国からのデータを「気象資料総合システム」（スーパーコンピューターCOSMETS)で計算処理し、更に予報官自身の判断を加味して「天気予報」として発表される。

このデータは全国 50 カ所の気象台 NTT、国土交通省、テレビ局等に配信される。

千葉県の場合、銚子気象台から流され、更に千葉県から各市町村、消防本部、警察本部に伝達される。

現段階における天気予報の的中率は 83%とのこと。17%については自然現象が人知を越えたものと考えられる。



引用文献：
さんば総研「気象の仕事」
(株)幻冬舎「知識ゼロからの天気予報入門」

サラリーマン時代の想い出

富田　宣吉（昭３７学化）

私は昭和３７年４月旭硝子（株）に入社しました。配属先は大阪の淀川工場でした。古い工場でしたが私は有機課に配属となりプロピレンオキサイド（ＰＯ）、プロピレングリコール（ＰＧ）の製造に携わることになりました。旭硝子（株）にとって新しい有機化学製品であり将来性を期待されました。

入社４ケ月後に３交代勤務となりました。現場ではじめて蒸留塔、熱交換器、コンプレッサー等教科書の写真で見たものとは迫力が違い感動しました。３交代勤務は私を含めて６名の勤務でした。３交代勤務中現場における問題点は何かを考えていました頃、副産物の液化炭酸の収量が大幅に低下しておりその解決こそ自分の命題として取り組みました。ある時、配管の表面を備（つぶさ）に触って調べたところ安全装置の出口配管が熱くなっていることが判明しました。この出口配管は通常は常温の筈でした。これを上司に報告し解決しました。炭酸ガスの流量計が急に上昇した瞬間は感動しました。

夏を迎えると冷却器の効率がガクンと低下することが長い間の問題でした。私は次に冷却問題を解決しようとチャレンジしました。工場には塩素ガスの洗浄塔がありました。この洗浄水は洗浄後大阪湾に流れていました。私はこの洗浄水中に含まれる塩素イオンに殺菌力があるのではと考え夜勤の時テスト的に冷却水の配管にこの洗浄水を添加しましたところ忽ち効果が表れ冷却器の効果が劇的に向上しました。（夏場は藻が発生するので、塩素イオンの注入により藻の発生を抑える効果がありました。）現在はインヒビターとして市販されていますが当時は吃驚しました。

このころＰＯ、ＰＧの純度の低いことが問題となりました。この時代の蒸留は高沸成分の除去が目的で低沸成分はカットされず製品に混入していました。私はＰＯ製品の純度向上のため蒸留塔の追加設置を提案しましたが上司に却下されました。

３交代勤務の時、先輩に冷凍機の取り扱いと原理の解説をお願いしたが先輩も理解不十分とのことで自分で国家試験を受けることにした。冷凍機の他に危険物、高圧ガスなどの資格も必要となり勉強も大急ぎとなりました。

化学工場にはこの他にも各種の資格が必要となりました。淀川工場には改善提案の制度があり現場の担当者は危険個所無駄な箇所など常に問題意識を持って従事していました。淀川工場時代は事務職も３交代者もコミュニケーションの維持に努め和気あいあいに過ごしていました。工場内での社内恋愛も盛んでカップルが成立していました。

私は４年間３交代勤務した後技術室に配置転換となりました。技術室にて課長から塩化ビニールの製造について諮問がありました。これについては工場の敷地が狭いので困難でないかと説明しました。その後、千葉工場にて実施されました。

淀川工場勤務中　千葉工場に建設中のアサヒペンケミカル（株）への出張を命ぜられました。

新しいプラントは塩化ビニルモノマー及びトリクロロエチレン、パークロロエチレンを製造するプラントです。この技術はアメリカＰＰＧ社から導入したものです。

私の役目は３交代主任を補佐することでした。　導入したプラントには２つの問題がありました。　一つは塩化ビニルプラントの分解時に発生するカーボンの目詰まりによる生産量の低下、もう一つはトリクロロエチレン・パークロロエチレン反応器の触媒劣化による入れ替えがありました。

これらのトラブルについてＰＰＧ社の技術者はその都度プラントを全停止するよう指示がありました。　しかし私達は以前からプラント停止ではなく運転を継続しながら工夫して改善しなんとか継続する様指導されておりました。

このためトラブル発生時英語での説明に苦労しました。

また単語の発音でもヒヤリングに苦労しました。

例えばエチレンガス　　；エスリンギャス
　　エチレンジクロライド　；エスリンダイクロライド
　　バルブ　　；バーブ
　　どういたしまして　　；ノッテトール
　　第１弾冷却器　　；プライマリカンデンサー
　　第２弾冷却器　　；セカンダリーカンデンサー　　等です。

私は大学１年生のとき英会話クラブにて多少訓練していましたので少しはお話ができましたが苦労しました。

国内旅行回想記

綿引貞男（昭３８学電）

これから記す回想記は数年前に当千葉県支部会員である３人の先輩方、塚越要夫氏（昭２５専電）、檜山邦良氏（昭３０学機）、芝山祐芳氏（昭３４学原）と私の４人で４回ほど国内旅行をした行先、行程を思い出しながら記したものである。

この旅行には基本パターンがあり羽田空港より目的地近郊まで飛行機、空港にてレンタカーを借りて名所旧跡などを巡る２泊３日の旅である。フライトの手配は檜山先輩、訪問先は当時俳句の会の会長で色々と造詣の深い塚越先輩が立案、現地到着後のレンタカーの運転はわたくしが担当するという役割分担である。

第１回　２００８年９月２３日（月）～２５日（水）
九州鹿児島方面

第１日　羽田発６：５５の鹿児島行き朝一のフライト。羽田へ行くのに一苦労した。鹿児島空港到着後早速レンタカーを借りる。高速を走り一路知覧へ。ここには日本の悲しい過去を思い起こさせる特攻平和記念館があり、改めて平和の大切さをしみじみと思い起こさせる所でもある。近くには当時特攻隊員の面倒を見た富家食堂があり今は記念館として当時の様子が展示してある。その後武家屋敷を見学し遠洋カツオ漁業の基地で有名な枕崎へ。枕崎漁港の食堂でカツオのたたき定食を昼食として頂く。その後ウナギで有名な池田湖を経由し今日の宿泊地である指宿に向かった。

ホテルではかの有名な砂風呂と温泉につかり一杯飲みながらの食事をとり一日目を終えた。

第２日　７：３０ホテルを出発。指宿港よりフェリーで大隅半島の根占港に渡り本土最南端の佐多岬を訪問。佐多岬展望台からの眺望は素晴らしかった。

その後大隅半島を北上鹿屋市にある鹿屋海上自衛隊基地を見学、物産館にて昼食をとり更に北上桜島に向かう。林芙美子の記念碑や噴火で埋まった神社の鳥居などを見学し桜島を一周、フェリーにて鹿児島港へ渡り今日の宿泊のホテルにチェックイン。夕食は市電に乗って鹿児島市の中心街である天文館へ行き一献。

第３日　７：３０にホテルを出発。市内に有る大久保利通、西郷隆盛生誕の地を見学後城山へ。次に島津家別邸の仙厳園（別名磯邸）を見学し昼食をとる。仙厳園より錦江湾を隔てた桜島の眺めは素晴らしかった。

その後は和気清麻呂神社の参拝、妙見温泉を経由して一路鹿児島空港へ。鹿児島空港発１９：１５のフライトで帰途についた。

第２回　２００９年９月２９日（火）～１０月１日（木）
中国地方へ

第１日　羽田発７：３０のＪＡＬにて山口宇部空港へ。９：１５宇部空港到着。早速レンタカーを借りて９：４５空港を出発。湯田町（湯田温泉のある町）にある中原中也記念館（有名な詩人)、高田公園（井上馨生誕の地）に寄り瑠璃光寺に向かう。国宝である五重塔などを見学し雪舟庭園のある常栄寺へ。ここの庭園は雪舟自身の作といわれている。次に山口市内にある山口ザビエル記念聖堂を見学し一路秋吉台に向かう。カルスト台地を見学後昼食。

昼食はこの地でしか食べられないソバ（？）―日本そばを焼いたつけめん―を食べた。その後萩市へ向かい松陰神社、松下村塾、伊藤博文旧宅、別邸を見学し武家屋敷へ。木戸孝允旧宅、高杉晋作生誕の地を見学、さらに菊屋住居、明倫館を見学し宿泊先である萩観光ホテルへ。入浴後は日本海を眺めながらの夕食で一杯。

第２日　８：００ホテルを出発。萩城跡を見学後日本海に沿って西に向かい長門市光崎町金子みすゞ記念館を見学。その後日本海に突き出た青海島へ渡りクジラ墓（国指定）を見学、民宿レストランで昼食。イカの生きつくりは絶品の味であった。その後下関に向かい１６：００下関に到着。唐戸市場、赤間神宮（安徳天皇を祭る)、日清講和条約記念館、巌流島、壇ノ浦古戦場を見学し下関市のホテルへ。

第３日　８：００ホテルを出発。下関市内にある高杉晋作終焉の地を見学後関門海峡を渡り（九州自動車道トンネル）門司へ。

―関門海峡を眼下に見下ろす壇ノ浦ＰＡからの眺めは絶景である。

門司港レトロ街、商船三井、日本郵船、門司港駅を見学し一路宇部市へ。その後山口大学工学部、宗麟寺へ立ち寄った後宇部空港より帰途についた。

第３回　２０１１年９月２６日（月）～２８日（水）
青森津軽

第１日　羽田発７：２０ＪＡＬにて青森空港へ。青森空港にてレンタカーを借りて旅のスタート。最初に弘前市岩木山神社を参拝。岩木山麓を経由して鰺ヶ沢へ。鰺ヶ沢は元力士舞の海の出身地、舞の海記念館を見学し昼食。その後五能線沿いに南下し十二湖に寄った後白神山地の入り口の青池（光線の具合により青色が変化する有名な名所）を見学、黄金崎不老不死温泉（潮が満ちてくると温泉がなくなる)、風待ち館に立ち寄った後今日の宿泊地深浦観光ホテルへ到着。１７：３０

ごろ太陽が日本海に沈み素晴らしい夕日が見られた。
日本海の幸を味わいながらの夕食、一献、旅の醍醐味を満喫した。
第２日　７：４０ホテルを出発。五能線を北上し五所川原市へ。
　木造駅（埴輪像で作られた変わった駅舎）、立佞武多館（高さが３０ｍくらいある特殊な建屋）を見学後太宰治の故郷金木町の斜陽館を見学し本州北端の竜飛崎へ。歌手石川さゆりのヒット曲津軽海峡冬景色の曲が流れる記念碑の前で記念撮影。その後津軽半島を海沿いに南下今別。開田を経由し青森市へ。途中塚越先輩御所望の幻の地酒‘田酒’を求めて蔵元へ立ち寄るも品切れ、在庫のある商店を紹介してもらい購入できた。
　その後本日の宿泊地弘前のホテルへチェックイン。夕食は街に出掛け津軽三味線のライブを聞きながら地酒で一杯。
第３日　８：００ホテルを出発。弘前城へ向かう。近くで見ると天守閣は貧弱、内堀、外堀の立派さには感心した。桜の季節に訪れないといまいちかなと感じた。
　次に青森市内にある縄文時代の歴史を再現した三内丸山遺跡を見学後青森空港より帰途についた。１４：２０発のＪＡＬであったが離陸寸前コントロール系の異常が発生、整備のため再度駐機場に引き返し整備後１時間遅れで出発。何事もなく無事羽田についたときにはほっとした。

第４回　２０１３年９月１７日（月）～１９日（水）
九州高千穂、日南

第１日　羽田から熊本空港へ。空港にてレンタカーを借用し熊本城へ直行。

（熊本城）

（天孫降臨の地国見ケ丘）

城見学後阿蘇高森町を経由して高千穂町へ向かう。

途中天孫降臨の地国見ケ丘へ寄り高千穂峡へ。

（高千穂神社境内の夫婦杉前）

高千穂峡は陸地からの見学のみで船には乗らず高千穂神社へ向かう。

神社参拝後は早めに本日の宿泊先国民宿舎高千穂ホテルへチェックイン。

夕食を済ませホテルの車で高千穂神社へ向かった。
今回の旅行の主目的である高千穂神社で行われている伝統の夜神楽を鑑賞。神秘的な踊りであり一度は見る価値のある神楽である。

（写真 左から綿引、塚越、檜山、芝山の各氏）

（高千穂神社神殿の夜神楽）

第２日　７：３０ホテルを出発。天岩戸神社を見学。全国八百万屋の神々が集まって会合をしたといわれの有る天安河原も見学。

なんとなく神秘な感じを受ける場所であった。その後宮崎市の青島へ。青島神社を参拝、青島海岸（鬼の洗濯板で有名）を散策後日向灘を南下し鵜戸神宮へ（神武天皇を祭っている）

その後今日の宿泊先ホテルに向かった。

第３日　８：００ホテルを出発。日南市の油津港へ。油津港につながる堀川運河（男はつらいよ寅さんの撮影地）を見学後飫肥城跡（九州の小京都といわれる）を見学し宮崎市に向かう。

宮崎神宮を参拝、宮崎県庁（近世ゴシック洋式の建物）を見学後宮崎空港に向かい帰途に就いた。

以上記した４回の旅行は、いずれもかなり強行軍ではあったがなかなか１人ではいけない所を見て廻れた貴重な経験であった。

またこの旅行方法は経済的にもお得な方法である。レンタカーによって好きなところへ行ける、しかも４人で均等割りにすれば交通費が安いし（レンタカーの借用費とガソリン代）時間にも縛られずに済む。

是非気のあった仲間同志で行くときにはこの方法をお勧めする。

海外旅行記

矢嶋国男（昭３８精密）

電信電話公社（現NTTグループ）入社同期の気心のあった飲み仲間１５人は、NTT を退職してからも、遠隔地勤務の男が帰京する度に集まって飲み会を続けていた。６５才が過ぎて終活を考えるようになったころから、毎年１回のペースで海外旅行が始まった。これには夫婦で参加するものも出てきて、以後、ずっと夫婦参加の海外旅行となった。

普通、夫婦の海外旅行と言えば、ヨーロッパとかハワイ辺りから始まるのだろうが、我々は、中国新疆ウイグル自治区（シルクロード）から始まって、中国チベット自治区（青蔵鉄道)、タイ、オーストラリア・ダーウィン（ガン鉄道）,ミャンマー、ケニア・タンザニア（9つのサファリ)、スリランカといった観光客の少ない国々ばかりを訪れた。

意識的にそうした訳ではなく、理由は単純で、それらの国々にNTTの海外事務所があり、仲間にその国の勤務経験者がいたからであった。その国の勤務経験者が、訪問先から旅行日程まで大筋を企画して、旅行会社にガイド付きで単独ツアーを組んで貰うという何とも贅沢な旅行だった。その頃の為替レートは、１ドル＝８５円前後だったから金銭的にも負担に思わないよき時代であった。

順調に回を重ねていた海外旅行だったが、２０１３年３月のスリランカ旅行前後から、いろいろな国で、内戦とかテロ事件などが多発しはじめ、命の危険まで出てきたために、国内旅行に変えて、隠岐、四国、佐渡、小笠原、五島列島（２０１９年１１月）などの島々を巡った。その国内旅行も２０２０年初頭から始まったコロナ禍のために、完全に休止状態になってしまった。

夫婦の旅を始めてから今年で１６年になるが､皆が傘寿を超え､残念なことに、３人が誘い合うように天に旅立ってしまった。その後、旅行の話が誰からも出てこない。このまま自然消滅するのだろうが、心おきない友と、夫婦で貴重な体験をし、知識を深める旅ができたことを幸せに思う。

今回、旅行記の執筆を依頼されて、思い出そうとしたが、記憶がまだらになっていて驚いた。特に印象深く記憶が残っている中国のチベットの旅とアフリカのサファリを巡った旅について紹介させていただく。

青蔵鉄道で行ったチベットの旅（ 2007.9.10―17 ）

２回目の海外旅行は、チベットへ行った。中国で世界最高海抜、最長距離の青

蔵鉄道（西寧－ラサ）が開通したというので、日本人として一番乗りしようと、チベットの旅が決まった。勿論、台湾・中国勤務が１７年、中国人から中国人と間違えられたほど中国語に堪能な男がいたからである。

青蔵鉄道は、最高地点：５，０７２ｍ、最高所の駅（タングラ駅）：５，０６６ｍ、海抜４，０００ｍ以上の部分が９６０ｋｍ、半永久凍土区間が５５０ｋｍ、最高所のトンネル：海抜４，９０５ｍ（全長１，３８６ｍ）、凍土上に作られた世界一長い鉄道橋：全長４１１，７０３ｍ、全線非電化でディーゼル機関車（米・GE 社製）、車内の酸素濃度を５，０００ｍ通過時でも３，０００ｍ相当に調整、寝台車には酸素吸引設備、医者と看護師常駐など我々の常識を超える桁違いの「世界一、世界初」ずくめであった。

青蔵鉄道の営業が始まって半年くらいしか経っていなかったから、中国国内がチベット旅行ブームで、チケットが購入できるような状態ではなかった。しかも当時、外国人がチベットに入るには、「入域許可書」とか、中国ビザを事前に取得しておく必要があり、更に、「外国人旅行証」も必要だという。中国勤務１７年の男を以てしても、３ケ月以上中国の旅行会社と掛け合って、やっと実現できた旅であった。

西寧までは飛行機で行き、西寧からラサまでを青蔵鉄道（一等寝台）に乗った。西寧で１泊し、タール寺（チベット仏教の一つ）、日月亭、青海湖（中国最大の湖・塩湖、琵琶湖の６倍）などを観光したが、シルクロードから外れているからか外国人観光客は我々だけであった。

青蔵鉄道の乗客は、殆どが中国人で、動き回るし大声で喋りまくっていた。これが中国人の国民性なのだと合点がいった。列車が動き出してから、軍人かと思うような車掌がやってきて、その時初めて乗車券が我々に渡された。その乗車券は西寧⇒ラサではなく、西北京（始発駅）⇒ラサだった。何か裏がありそうな中国らしさを感じたが、幹事の苦労を思い詮索しなかった。

列車は、西寧を２０：２８に出発した。酸素濃度調整しているといっても、４，０００ｍ以上が続くようになって、車中泊した朝から高山病の兆候が出始めて、車窓から景色を眺める気分になれなかった。順番待ちでやっと行った食堂車でも食べる気がせず、悩まされ続けた。勿論、酸素吸入器は使ったが、気分をスカッとはさせてくれなかった。

胸膨らませて乗った青蔵鉄道であったが、世界一を実感できずに終わってしま

った。翌日２１：５０に真っ暗なラサ駅に着いた。
ラサ駅も海抜３，６４１ｍあり、列車を降りても気だるさは続いた。気だるさには勝てず酸素ボンベを持ち歩いての観光となった。ラサの中心･マルポリの丘（３，７００ｍ）に聳え立つポタラ宮は、観音菩薩が住むところらしく、その威容と美しさに感動した。その他、市内のジョカン寺、バルコル（八角街)、ノルブリンカ宮殿などを巡った。ラサ郊外では、５，１９０ｍのナゲンラ峠を越えてチベット三大聖湖の一つナムツォ湖（４，７１８ｍ、塩湖）に行った。ニェンチェンタンラ山脈（７，１６２ｍ）の神々しい白い峰々を展望することができた。チベット人は富士山頂よりも高いところで暮らしているのだから驚くばかりである。

チベット人が、ろうそくを持って寺の周りを何回も礼拝して歩いたり、マニ車を回しながら道を歩いていたり、何ｋｍも離れた寺まで五体投地を繰り返しながらやって来るのを間近で見た。今もチベット人が仏教に帰依した生活をしていることに驚いたが、その光景をチベット人ではなく漢人が案内していることが腹立たしかった。観光していて、チベット人に対して申し訳ないという気持ちが湧いてきて辛かった。
チベット人の聖域であるポタラ宮の管理･運営も漢人だったし､バスの運転手、バスガイド、ホテルの従業員も全て漢人であった。チベットの役人は全て漢人ではないだろうか。
チベット人の生活や文化を観光の具としている為政者と被征服者扱いされているチベット人との溝の深さを知ることができた。今の為政者では、ダライ・ラマとの和解は考えられず、亡命はまだまだ続くだろう。
ラサに３泊し飛行機で成都へ降りた。海抜５００ｍの空港に着いたら　嘘のように高山病のもやもやは消えた。

成都では２泊し、武侯祠、杜甫草堂、川劇（せんげき、一瞬に替わる変面ショー)、郊外の都江淵、青城山まで足を伸ばした。
ところが、２００８年５月、四川省に Ｍ８の大地震が発生した。我々が９カ月前に訪れた都江淵の先端が崩れ、青城山のほとんどの寺院が崩壊してしまったという｡我々が遭遇していたかもしれないと､九死に一生を得た思いの旅となった。

ケニア・タンザニアの９大サファリ（ 2012.2.14―25 ）
ケニアにも NTT の事務所があり、ケニアに旅行することになったが、ナイロビは治安が極めて悪いというので、旅行会社が企画した「ケニア・タンザニア９大サファリ１２日間」を我々だけの旅に編成して貰った。

我々が行った２月は小乾期で大雨期が始まる直前であったから、‘こども’がまだ親離れしておらず、微笑ましい親子の生活を見ることができた。
成田空港からバンコク経由でケニアのナイロビ空港に行った。空港に着いて休む間もなく、空港の隣のナイロビ国立公園でドライブサファリをして、その日の内にマサイマラ国立保護区（マラ川、マサイ村）へ行った。その他ケニアでは、ナクル湖国立公園（フラミンゴ、ペリカン)、アバーディア国立公園（ナイトサファリ、ケニア山)、アンボセリ国立公園（キリマンジャロ山）を巡った。
タンザニアには国境の町ナマンガから入国した。ナマンガ・ケニアとナマンガ・タンザニアの２つの町があり、２つの町の間に高い壁に挟まれた幅 50m の国境ゾーンがあって、国境線はその中にあるという。入国手続きは日本語を流暢に話す美人女性が全部やってくれた。
タンザニアでは、ンゴロンゴロ自然保護区（巨大クレーター)、セレンゲティ国立公園（マサイ村)、マニヤラ湖国立公園（カバ、フラミンゴ)、タランギール国立公園（バオバブの大木）を巡った。

野生動物については、テレビなどで放映されているから、皆さんも詳しくご存じだと思うので、ドライブサファリしていて、気づいたこと、感じたことなどをお伝えさせていただこうと思う。

何といっても、タンザニアのセレンゲティ国立公園は、別格であった。関東平野から東京都を除いたくらいの広大な広さがあり、北部はケニアのマサイマラ国立保護区と繋がり、西部はビクトリア湖に達し、東部はンゴロンゴロ自然保護区に隣接し、巨大な生態系を形成しているという。
人間が一切関与しない大自然の中で、何世紀にも亘って同じ営みを繰り返している野生動物が観賞でき、感動と興奮の連続であった。私にとっては、文明開化により精神的、物質的に生活が豊かになった我々の今の生活との比較ができて、目から鱗が落ちた。

ケニアのマサイマラ国立保護区、タンザニアのセレンゲティ国立公園の中で、マサイ族が牛や羊を遊牧させながら、野生動物と共生している事実を見聞きし、そんなことが本当にできるのかと驚いた。
マサイ族と直接会話する機会があったので、「怖くないのか」「身をどう守っているのか」と尋ねたら、「気を付けていれば、別に怖くはない」「家畜は、夜、囲いの中に入れてあるから大丈夫だ」と心配している様子は全くなかった。事実、少年が一人で遊牧させているところを見たし、少年は、少し長い細い棒を１本持

っているだけであった。また、彼らは、薬草の知識が豊富で、頭痛、腹痛、怪我、血止め、日焼け止めなどそれぞれの対処の仕方まで、全員が精通していた。
　マサイ族は高くジャンプできる、ブッシュマン（狩猟民族）は遠くの文字が読めると話題になったことがあるが、今回、それらは特定な人の特技ではなく、彼ら全員がそのような能力を持っていることが分かった。（我々も、昔はそのような能力があったということらしい？）

　サファリで最も驚き感動したのは、サファリの野生動物が、逞しく生き生きとしていて美しく且つ大きく見えたことであった。日本の動物園とかサファリパークの動物を見ていて、こんな思いになったことはない。
　何が違うのだろうか。サファリ巡りをしていて、次の仮説に至った。
【野生動物は、草を食べているときも、命の危険を感じながら緊張している。そして、一匹いっぴき（こどもであっても）が、天敵との「対峙の仕方」を知っている。自分の体力と能力が判っている。それが自信となり余裕となって、全身からオーラのようなものが出ている。この共生のキーとなるのは「対峙の仕方」で、それは「俊敏さと脚力と持久力そして間合い（距離感）」である。】
　肉食獣に狙われることが多くて可哀そうだと思っているトムソンガゼルが、肉食獣との対峙の仕方を知っていて、そう簡単に餌食になることはないという。これが野生の逞しさだと思っている。

　これほどまでに感動を覚えるのは、野生動物が逞しく、美しいだけではなく、我々に彼らに対する劣等感或いは羨望があるからではないだろうか。ドライブサファリをしているとそう思えてくる。文明の恩典に安穏と暮らしている我々は、一人で生きていく能力と気力を退化させてしまった。金がある人／ない人、知能がある人／ない人といった格差が生まれた。そんなことが何もない、ただ生きることだけを考えている彼らを見て感動し、羨ましく思えてくるのである。
　現に、今の我々は、草食動物のクマ、サル、イノシシなどに対しても、共生どころか、排除しなければ生きていけないと思っている。文明が進めば進むほど、人間は弱くなってしまうことを野生動物が示してくれている。

　野生動物の天敵との対峙の仕方を見ていて、思ったことだが、今の我々の生活の中にも、命の危険を感じる天敵は、車、地震、津波、火事、殺人犯など枚挙にいとまがないくらいある。それらが皆、天敵だと思えば、サファリの野生動物と同じように、天敵との対峙の仕方を、一人ひとり（子供であっても）が知っていれば、天敵と共生できることになる。大きな津波の教訓として、‘他人のことを考

えずに兎に角、高台へ逃げろ’と言われるが、これなどは、正に野生動物の営みそのものである。アフリカのサファリから帰った後、命の危険に関係するようなことは、野生動物を範にして考えるようになった。人間の場合、命を落とすことになったとき、親だとか責任者の問題として、個人の問題にしないことが多い。野生は厳しく、一匹いっぴきが対処している。見習いたいと思う。

　セレンゲティ国立公園の動物の個体数はほぼ変わらないという。
ヌー：１３０万、トムソンガゼル：９８万、シマウマ：５０万、インパラ：７万５千、トピー：３万、キリン：１万８千、イボイノシシ：１万７千、ジャッカル：１万３千５百、ハイエナ：６千、ヒョウ５千、ゾウ：３千、ライオン：２千５百。
もし、このサファリを人間が管理したらどんな数字になるのだろうか。人間が怖いと思う動物は隔離するか排除して、何１０万と数の多い動物は適当な数に減らすのだろうか。自然のバランスを考えるなら、人間の数も多過ぎるのではあるまいか。ところが、人口は増え続けている。
　「自然は変化があれば、地球全体のバランスが取れたところに収まるのだが、それを人知では判るはずはないのに」である。野生の営みを見ていると「人間は、自然破壊に突き進んでいる」と素直に思えてくる。

　セレンゲティ国立公園のヌーやシマウマたちは、乾季が始まる 5～６月に北に向かって大移動をしてマラ川を渡る。その映像はテレビで放映されているから、皆さんも知っていると思うが、ヌーたちはタンザニアから国境を越えてケニアに移動していることをご存じだろうか。ヌーたちが意を決っして飛び込むあのマラ川は、ケニアのマサイマラ国立保護区にある。もちろん、野生動物には国境など関係ないが、共生しているマサイ族は、二つの国に割(さ)かれてしまった。彼らにとっては、晴天の霹靂であったろう。更に、為政者からは遊牧生活を止めて定住するように指導されているという。マサイ族の抵抗は今も続いているという。
何故マサイ族の生活圏を割くような国境が決ったのだろうか。
その答えは、キリマンジャロ山の麓にあるアンボセリ国立公園に行ったときにガイドが説明してくれた。
　ケニアとタンザニアの国境は、産業革命後のヨーロッパ諸国が、資源を求めてアフリカを植民地化していき、第一次世界大戦前には、ケニアはイギリス領、タンザニアはドイツ領になった。その２国が地図の上で線を引いて国境線を決めたという。確かに、アフリカの国境線は直線になっている国が多い。
　更にガイドは　　次のエピソードを足した。
ケニアとタンザニアの国境は、最初、キリマンジャロ山がケニア側にあるように

直線で引かれたが、ドイツ皇帝ヴィルヘルム２世が、キリマンジャロ山をタンザニア側にあるようにして欲しいと願い出た。イギリスのビクトリア女王がそれを受け入れて、国境線が今のように引き直された。だから直線ではなくなったという。信じがたい本当の話である。
　今は、独立国になったとはいえ、先進国と後進国間の紛争、引き裂かれた民族の紛争の種がこんなところにあることを知った。

　野性的な出来事があった。
セレンゲティをドライブサファリしているときの午後、遠くの草原から煙が立ち上がり燃え始めた。当然、消火などしないので、どんどん燃え広がって行った。ドライブサファリのいいところで、早速、炎が見える近くまで行ってくれた。そこでは、ものすごい数（５０羽以上いたと思う）のアフリカハゲコウ（羽を広げたら２ｍにもなる）が、燃え盛る草の中へ飛び込んで騒いでいた。壮大なスクリーンを見ているようであった。何でも、野火で虫が飛び出てくるのを食い漁っているのだという。野火は、翌朝になっても燃え続けていて、見渡す限りの草原が真っ黒に焦げてしまっていたが、ガイドの説明では、いずれ鎮火するし、草の肥料になるのだという。これも野生の営みの魅力の一つとなった。

　ドライブサファリ以外の観光は少なかったが簡単にご紹介する。
・ケニアでは赤道を跨ぐという貴重な経験をした。
・アンボセリで長年の夢であった雪を頂いたキリマンジャロ山を拝むことができた。
・ンゴロンゴロの巨大なクレーターの外輪にあるオルドヴァイ渓谷が‘人類発祥の地’（諸説あるらしい）と呼ばれていることを知った。
・エチオピア⇔ケニア⇔タンザニアに掛けての大地溝帯に悠久の大自然の巨大なエネルギーを感じた。

　帰国のためにナイロビ空港に向かう途中で、高速道路を建設しているところにさしかかった時に、現地人の運転手が「この工事は中国の援助でやっている。でも、中国人は威張っているだけで嫌いだ。日本の工場で働いたことがあるが、日本人はいい人が多い。」と説明してくれた。中国資本がこんなところまで手を伸ばしていることを知った。中国、おそるべしである。

海外の国々を旅して、景色や建物だけでなく、現地の人の生活や考えまで知ることができた。知識が広がり、実に楽しかった。

五木寛之の世界

昭 25 専電・塚越要夫

　今回は、皆さんご存じの「五木寛之」です。
彼は、私と同年代（1932・昭和 7 年生まれ）で、精力的に文筆活動を進めていますね。（因みに、私は 1929 年生まれです）正にご立派ですね。
　経歴→福岡県に生まれて、北朝鮮に渡り引き揚げ後、早稲田大学でロシア文学専攻、「さらばモスクワ愚連隊」「蒼ざめた馬を見よ」「青春の門」などの著書で多くの文学賞を受賞。その他、「朱鷺の墓」「親鸞」「大河の一滴」など、多くの著書を残しています。
その「五木寛之」の近年のエッセイ集、「元気」「捨てない生き方」から、
彼の心情を吐露した数点のコメントを抜き書きして、ご紹介します。
今を生きる私たちに、大事なことを示唆しておられます。
(1)「元気」より
　　人間の体は約六十兆個の細胞からなっており、その生命体の宿主が人間であり、その人間の宿主が地球であり、さらに地球の宿主が宇宙であるということになる。宇宙もまたひとつの大きな宿主の一部と考えたとき、最後の宿主はいったいなんだろう。
たぶん、それが根元の「元気」ではないか？「元」は「原」であり、また「玄」である。その「玄」から宇宙が生まれ、宇宙から地球が生まれ、地球に人間の生命が生まれた。そうそう、私たちのひとりひとりは「元気」の分身なのである。(「元気」のアバターなのですね)
親鸞の思想に「自然法爾（じねんほうに)」という言葉がある。これは「自分が宇宙万物の一部として生み出され、生かされていることを実感し、それを感謝する」ということであろう。
(2)「捨てない生き方」より
　　いよいよ「人生百年時代」がやってきました。記憶という自分が生きてきた証（あかし)、歴史の記録を残してくれているモノたちに囲まれて過ごす人生は、とても豊かなものなのです。私たちの後半生は芳醇（ほうじゅん）な回想の年代であり、黄金の年代なのです。
「モノ」に囲まれている、ということは一面「記憶」とともに生きているということなのです。
人生百年時代の生き方を「登山」として考えましょう。登山は山頂に辿りついて終わりではありません。今度は麓を目指して下りなければなりません。この「下山」にこそ、人生の本質　があるのです。　(2022.10.15)

今月は養老孟司です

昭２５専電・塚越要夫

今回は、皆さんご存じの「養老孟司」先生です。
彼は、私より８年若い昭和１２年（1937 年）生まれですが、もの凄いバイタリテーで、驚きですよね。
→鎌倉生まれ、経歴は、東大出身の解剖学者です。そして、「バカの壁」「ヒトの壁」など、多くの著書で有名です。人間が物事を認識する場合、根底に潜む問題、心の問題などを突き詰め解説してゆきます。昆虫採集を趣味とし、箱根に「養老昆虫館」を開設、また鎌倉・建長寺に「虫塚」を建立した。一昨年、17 年間共に暮らし溺愛した愛猫「まる」に先立たれ、追悼文章を書き、更に DVD 化した。
その養老先生を取材した最近発売の「芸術新潮・養老孟司の目」から、一部抜粋して、その人となりに触れる。
(1)「芸術新潮・養老孟司の目」より

欧米の考え方ではそもそも、意識というのは人間にしかないという前提がありますが、猫にだってやっぱり意識はある。ということは日常的に猫を見ていればわかる。昆虫にも意識がある時とない時がある。おそらく、単細胞にだって意識はある。一方でＡＩには意識がない。オンとオフはあって脳の回路としては成立しているといえどもそれはアルゴリズムで動いている。いくら大きくしても意識は出てこない。
（アルゴリズムとは、問題を解決するための方法・手順をいう）

次に「まる、ありがとう」の文章より

「まる」がいなくなってから、間もなく一年がたつ。毎日あいさつを交わすのでもなく、置物みたいに、ただ縁側に寝転がっているのをこちらが眺めていただけなのだが、それだけで心が温まる気がしていた。死んで分かったことは、結局は、向こうが私を気にかけていたのではなく、こちらが向こうを気にかけていたのだ。それが突然、いなくなった。よく「心にぽっかり穴が空いた」という。だが、それでは言葉が足りない。おそらく、いくら探しても言葉は見つからないだろう。あらためて不思議に思うのは、「まる」はどうしてわが家にやってきたのか？ということである。あいつはいったい、何だったのか。なぜ俺は関わりを持ってしまったのか。仏教ではそれをご縁というが、縁がどこでどうつながっていたのか。現に「まる」はそこにいた。それでじゅうぶんではないだろうか。一期一会、かけがえのない「まる」であった。　　(2023.1.21)

我が闘病記―８１歳、三途の川からの生還

前千葉県支部支部長　高崎芳紘（昭３９学電）

２０２１年５月の総会（コロナ禍の中での簡易総会でした）で、支部長に就任しました。しかし、８月に急性心不全を発症し入院しましたので、就任３か月で職務履行不可能となり、支部長を辞任しました。千葉県支部の幹事の皆様に多大な心配とご迷惑をおかけしました。申し訳ありませんでした。この紙上を借りてお詫びいたします。

１．三途の川からの生還―発表の意味も検討

２０２１年８月１７日夜中、好きな囲碁ネット対局をやりたくて起床したところ、突然意識不明となり、救急車で柏厚生総合病院に緊急入院しました。まったく突然の予想もできない出来事でした。それまではゴルフを週１回から２回プレイするほどの元気者でした。

そのまま７か月入院し、翌年２０２２年３月退院しました。入院して３週間ＩＣＵで意識不明のまま救急治療を受けました。この間病院側から予断を許さない生命の危機であること、万一を考慮（死ぬこと）して覚悟と諸準備（葬儀や、家族間の話し合い）をしておくことの助言があったそうです。しかし結果的に無事退院しました。三途の川からの奇跡的生還でした。

そこで、わが闘病記として、入院生活、退院後のリハビリ生活を文章の形で発表する次第です。

個人の闘病記が千葉県支部にとってどんな意味があるかわかりません。単なる個人的体験談との見方もあるでしょう。しかし、現在の高齢化社会、医療制度、誰しもが必ず体験する老人生活、父や母の未来、家族の在り方など、参考になることもあるかもしれません。一読していただければ幸いです。

入院生活中に多くの俳句や川柳（いずれも自己満足的な駄作です）を作りました。以下の文章の中で時々出てきますので、笑って下さい。

２．ＩＣＵでの生活

ＩＣＵ、すなわち集中治療室での生活は、現時点でほとんど記憶がありません。意識不明ですので当然です。治療は、酸素マスクによる酸素吸入、人工呼吸、糖尿病治療、肺炎治療、心不全治療、点滴治療でした。この間、身体は動けないように拘束された状態です。

ＩＣＵでの治療中から、突然のわめきや大声を出していたそうです。これは、重症者の症状の一つで、脳が働き始めた証拠とのことです。被害妄想的な

感情の発露で、医学的には不穏せん妄症と呼ばれています。具体的内容は後述します。

３．４人部屋での生活

意識が戻ってＩＣＵから４人部屋に移動です。しかし、全くの驚くべき出来事が発生したのです。体が自分で動かせません、ベッドから起き上がれません、話もできません、文字も書けません。記憶が少しずつ戻って脳が働き始めましたが、どうにもなりません。脳梗塞や脳出血を起こしてはいません。脳障害が発生したわけではありません。原因は、体重が６８Ｋｇから４８Ｋｇへの２０Ｋｇもの大幅減少の結果による体力、筋力の大幅劣化でした。後で担当のお医者さんの話では、体重減少は心臓や肺にたまった水分の排出や３週間のＩＣＵでの身体拘束条件下での筋力の低下などによるものとのことでした。

投薬治療とリハビリ生活とが始まりました。食事も、流動食が始まりました。流動食は、栄養の吸収のほかに、誤飲防止が目的です。とろみのあるのが特徴です。４人部屋は寝起きやリハビリの場所ですが、テレビのある娯楽室（広義の介護室）でもリハビリや食事ができました。

４人部屋に入って間もなく、誤飲による肺炎発症です。すぐに、ＩＣＵに逆戻りです。抗生物質の投与など治療を経て数日後４人部屋に戻ってきました。

寒暖も　眼だけでわかる　寝たきりの身
マスク越し　　語る言葉で　心読め
低カロリー　我慢我慢の　病院食
４人部屋　　覚える暇なく　人変わる

（１）．リハビリは、驚きの連続でした。昔のリハビリは、身体の回復を待って始めましたが、現在のリハビリは、一般病棟に戻った当日から始まりです。手術を行った場合は、翌日からリハビリとのことです。

考え方は、リハビリは早い段階から早期に始めるべきとの現代リハビリ論、体力に応じたリハビリの考え方の導入、そしてそれに応じたリハビリ手法の開発、かくして身体が悪ければ悪いなりに、良ければ良いなりにリハビリがなされるのです。しかし、無理なトレイニング（以下トレと略記）は禁止です。体に負担なく、着実に向上していくのが、今流のやり方です。また、リハビリ専門担当者として、理学療法士なる国家資格があり、活躍しています。言語療法士なる国家資格者も、脳障害者や言語障害者などのリハビリに活躍しています。

リハビリは、一回４０分で一日３回です。ベッドの起き上がりと移動、ベ

ッドからの立ち上がりと車いすへの移動、これらの逆の動作の繰り返しが、初期段階のリハビリです。一つの運動ごとに血圧、心拍数、血液中の溶存酸素量等を測定し、異常があればすぐに中止または正常値に戻るまで休息です。これらの値は、データーとしてパソコンに記録されます。

苦労したのは、ベッドからの立ち上がりです。筋力がないため立ち上がれず、ベッドでの背筋、足腰の筋力トレが、繰り返しなされました。前のめりの立ち上がりのトレもありました。どうしてもできずにいたところ、ある理学療法士が、立ち上がる時ベッドに手をついてよいしょとやったらとのアドバイス、これでやったところ、無事成功でした。座っているベッドなどの台座を手で押すとの発想が全くなく、何物にも触れずに立ち上がるやり方だったため、目に鱗でした。その後は、この一連のリハビリは卒業でした。

次のリハビリは、車いすでの移動、そして手押し型杖、手持ちの杖での移動です。足腰の筋力などの強化トレが中心で、傾斜版の傾斜度を変えてのトレ、自転車風の足漕ぎトレ、横歩きトレ、壁を使用しての足腰トレ、左右の足の筋力強化の２０分低周波治療トレ、廊下を使用しての歩行トレ、階段上り下りトレ、各種のリハビリ機器を使ってのトレなど、回復度に応じての様々なトレでした。これを、日曜日を除く週６日実施です。複数の理学療養士による交代でのトレでした。

多くの理学療法士は、驚くほどの医学知識の持ち主でした。手術などの医療行為はできませんが、身体のメカニズム、運動時の身体の動きなど、くどいほど聞く私の質問に明確に答えてくれました。それによって、リハビリ意欲が高まり効果的なリハビリが達成できたようです。

最後のリハビリは、杖なしでの歩行です。３分歩行、５分歩行、２０メートル歩行、１５０メートル歩行などを、従前のリハビリ治療と合わせて行いました。２か月程度の期間がかかってこれも無事卒業です。

そして、退院となります。緊急入院してから、７か月かかっての退院でした。

立ち上がり　出来たら次は　　歩行トレ
病室の　窓で　カラスが　元気かー
季節感　出せるわけない　病院食
乗り越える　喜び連れて　リハビリだ
スズメ二羽　夫婦（めおと）か友か　春近し

（２）．看護師さん、理学療法士さん、そして当然にお医者さんたちへの感謝

准看護師を含めて看護師の皆様は、若く看護の強い意志を持っての人達

で、その働きは敬服に値し、感謝に値するものでした。看護学校生で実習生にも会いました。看護師なので、親切で献身的な介護は当然です。しかし、患者の立場によりそっての介護は徹底していました。身体を動かせないときに、身体の起き上がりやベッド移動などの手助け、呼び出しキーを押せば、すぐに来てくれて下の世話（大便、小便の処理)、流動食の介助など、親身になっての看護でした。

院内での教育効果かもしれませんが、看護学校の整備、その学問内容などによる教育が大きく影響しているかもしれません。現在の医療制度を現場で支える人たちでした。

リハビリトレ担当の理学療法士さんたちにも大変お世話になりました。豊富な医学知識を持ち、多様なリハビリ技術を持つ多くの個性的な理学療法士に出会いました。人間的にも学ぶことがありました。看護師さんたちは、ほとんどが女性ですが、理学療法士は比較的男性が多いですが、しかし、女性の方も何人かいて、男性に負けずに頑張っていました。

お医者さんは、循環器内科、心臓外科、呼吸器内科、泌尿器科、歯科、の皆様にお世話になりました。手術は当然のことながら、日常の治療や生活習慣の指導を、看護師や理学療法士をバックに円滑に進めていただきました。

７か月の入院期間での病院の人たちの献身的な働きには、感謝、感謝です。

看護師は　どこか似ている　アスリート
障害を　打破する意思が　成果生む
２度、３度　トイレ求める　４人部屋
こんなにも　親身の介護　がんばるぞ

（３）．大手術

７か月の入院は、大手術の準備のためでもありました。心不全で倒れたのですが、原因は、心臓弁膜症でした。心臓から動脈への血流が、そのつなぎ目のところで一部逆流していたのです。動脈での血流不足の事態になります。そこで、出口弁のところで、逆流防止の手術処置です。具体的には、心臓の切り開き、すなわち胸骨を切開して、心臓の弁の逆流防止処置を行う心臓弁膜症の手術です。４時間以上の大手術のため、身体に大きな負担がかかります。このため、リハビリでの体力回復が不可欠でした。7か月の入院生活は通常のリハビリ処置のほかに、この心臓弁膜症手術のために必要な体力回復のための期間でもありました。

手術は、５時間かかり、無事成功しました。全身麻酔での手術でしたが、心臓にメスを入れ真ん中から心臓切断したときには、ズシンという強烈な音

と振動を感じていました。

（４）．中手術

退院後、心臓に不整脈（３０台から４０台の心拍数が時々出現）があるとのことで、心臓ペースメーカーの手術を受けました。１時間の手術時間でした。これによって、最低脈拍数が６０回に設定され、その後は、順調に経過しています。

なお、心不全で倒れる数か月前に、肺動脈の一部に閉塞があるとのことで、長さ２６ミリ、径５ミリのステント挿入手術を受けました。その時の手術時間は、３０分でした。

（５）．介護度の認定、障害者手帳の交付

退院時に柏市役所の担当官のディスプレイ面接で介護度２の認定を受けました。５段階評価で、介護度５はほぼ寝たきり状態の人への評価値となります。年一度の更新です。介護度数が多いほどリハビリなどへの補助金（ポイント）が多くなる仕組みです。

心臓ペースメーカーの挿入により、自動的に、障害者手帳の発行を受けました。これによって、障害者は各種の優遇処置を受けることができます。このペースメーカーと前記介護度とは、全く別の判断です。

（６）．コロナ禍での家族との面接

入院期間の面接は、禁止でした。対策として、携帯による通話は当然として、iPad によるパソコンや、ビデオ通話、ライン通話などが行われています。私は、iPad によるライン通話やビデオ面談を行いました。

４．医療費など

食事代、部屋代、医療費を含めて、入院中の支払いは、月平均で約１７万円でした。医療費は、１割負担でのものです。５時間の心臓弁膜症の手術代は、約５００万円強で、１割負担制度により当方の負担額は、５０万円強となりますが、実際には、高額療養費制度の適用により５万７千円程度で済みました。大変助かりました。

５．意識朦朧障害（不穏せん妄症）

前述しましたが、意識障害は、不思議なことに、現在も記憶に残っています。一つ目は、医者と看護師とがグルになって訳のわからない別の個室に連れ

出し、自分を何か悪いことに利用しているとの妄想です。複数回同様な妄想を見ました。二つ目は、薬の拒否です。飲み薬の拒否です。これは、何か毒物を投入されるとの恐怖感からです。夢の中での出来事ではなく、妄想上の恐怖感から実際の投薬を拒否するとの行動に至ったのです。

他の患者さんにも発生していました。突然大声を出したり、看護師さんにいじめられているから助けてくださいと叫んでみたり、食事を大声で拒否したり、さらに突然看護師さんに暴力を振るったり、などです。脳の活性化のほかに、脳の退化もあるかもしれません。

こうした障害の発生は、看護師さんたちには織り込み済みで、患者を非難することなく優しく受け入れていたようです。

年老いて　幼児に帰る　わが命
介護室　ボケもいろいろ　　明日我が身

６．退院後の生活

（１）退院に当たっては、様々の克服事項があります。一つ目は、自宅への帰りか、介護施設に一旦入所するか、の選択です。これは、障害の具合によって、家庭の事情によって、経済事情によって、などで決まってきます。当方の場合は、障害の程度が介護度２と比較的軽かったこと、女房が元気であったことにより、自宅帰宅となりました。

二つ目は、自宅の障害者用への改造です。どの程度かの改造判断が必要です。三つ目は、継続してのリハビリをどうするかです。

この答は、介護ケアマネジャー（正式名称は介護支援専門員）にありました。介護ケアマネジャーは、民間資格で、地元に戻った患者さんたちのその後手助けの総合介護マネジャーです。上記３つの課題の相談相手になってくれました。また介護ケアマネジャーの仲介をしてくれたのが、病院側の相談員でした。

介護ケアマネジャーの紹介で、自宅改造の業者と連絡を取り合っての、最小限の自宅の必要な場所（玄関、風呂場、トイレ、寝室など）への手すりの取り付け、週一の訪問看護の受け入れ、老人介護施設への毎週のリハビリ通院等の対応を行いました。

（２）そして現在に至っています。その後得た知識では、老人介護施設は、大小の規模のもの、娯楽中心（風呂、ゲーム、カラオケなど）の施設、機能訓練型（リハビリ用器具や有酸素また無酸素運動器具）施設、一日滞留型や半日滞留型や宿泊型などの施設、などがあることがわかりました。自分の体調

や、希望に応じて選択出来ます。柏市には、大小合わせて数１０のこうした施設があります。

自分としては、現時点では総合リハビリ施設を選択していますが、将来的にはスポーツ型の施設利用を検討しています。

（３）毎日３０００歩の散歩を目指しています。杖使用もありますが、杖なし歩行が基本です。手賀沼までの散歩コースは、よく歩いています。

大好きなゴルフの練習と、ゴルフ場でのプレイも開始しました。当面は、１W、６番ユーティリティ、５２度アイアンクラブ、パタークラブの４本でのプレイです。

自家野菜　　青汁混ぜて　はい、ジュース
犬散歩　連れてる人が　よれている
西日浴び　わが影長く　　緑消す
送電塔　景色に溶けて　鴨群れる
菜の花に　気を奪われて　つくし蹴る
遊歩道　歩くに難儀の　　夏の草

（４）囲碁は、ネット対局が基本です。頭脳のリハビリとして取り組んでいます。元気な時には７段でしたが現在は、どうにか６段を維持しています。ＡＩの出現で、昔の定石や布石理論は通用しなくなり、その場その場での読みと感性で、打っています。またネット対局では、ＡＩを手元に置き、覗きながら、アドバイスを受け打っている人たちがいますので、要注意です。だからと言って、防ぎようがありません。以前下手な打ち方の人が、急に２、３段強くなったようなときは、可能性が高いです。カラオケは、呼吸や腹筋運動として取り入れています。２週間に１回程度、女房や友達と歌っています。アルコールは一切やっていません。

（５）退院時と現時点での体調の比較

退院時は、多少歩行おぼつかなく、杖が必要でした。レンタル車いすを借りて、家族の手押しでの散歩もありました。風呂もトイレも女房の手助けが、必要でした。象の足のような足のむくみがありました。心臓や肺に多少の余分な水分があっての結果でした。

現時点では、車いすは全く使用していません。レンタルを解消して車いすを返却しました。毎日の散歩のお陰で、杖の使用も不要になりました。足のむくみは完全になくなりました。風呂もトイレも、女房の手を借りることな

く自分一人で成し遂げています。食事は、退院時も現時点でも介添なしに自分一人で可能です。

これからスポーツ型施設に通うことによって、さらなる体調の回復を目指していきます。

７．家族との関係

今回の治療と介護、リハビリは、家族の協力がありました。家族は、私と、女房と、嫁に行った娘と、独身サラリーマンで富山県で生活している息子との４人です。

７か月の入院期間中は、女房が、娘と相談しながら病院との頻繁な連絡、情報交換を取り合っていました。洗濯物や当方からの様々な要求（本や雑誌、新聞、身の回り品などの多様な要求）も、円滑に成し遂げてくれました。当初は、携帯電話での連絡でしたが、途中から看護師さんの協力のもと iPad により、映像を利用しての家族との連絡を遂行しました。映像は、リハビリの様子、食事の様子、ベッドでの様子などその時々の貴重な映像でした。

コロナで面会禁止の特異な状況の中、iPad は、家族にとっても、直接顔を見ながら会話ができ、何よりも情報を得る有力な手段だったようです。

当然のことながら、手術時には家族の見守りがあるとともに、iPad によって手術後の元気な顔が見られ、一安心したそうです。

また忙しい医療現場と円滑なビデオ面談ができるように娘が病院へ書面での対応マニュアルを渡すことによって病院側の負担も減り、円滑な映像作成、映像配信を実現しました。現代ならではのＩＴ機器の有効な利用法だったとみています。

退院時には、女房と娘が病院の相談員や、理学療法士、看護師さんたちとの打ち合わせを行って、円滑な退院を実現しました。

さらに、介護ケアマネジャーとの打ち合わせを行い、改造業者による自宅での取っ手などの取り付けの実現、リハビリ施設の探索と通所の実現、これらも、女房と娘の協力のもと、実現しました。

当然のことながら、入院時の病院への医療費や、退院後のリハビリ費用の支払いなどは、すべて女房が行ってくれました。こうしたことは、男は苦手で、大助かりでした。

心から女房、そして娘や息子に感謝です。

以上

日本の絵師達の歩み（その４）明治時代以降～

佐藤隆義（ 昭４０学化 ）

前回は、江戸時代の絵師達について紹介しましたが、今回は明治時代以降における代表的な絵師達について紹介します。

横山大観のように、明治、大正、昭和と３代に渉って活躍した人もいますので、タイトルは、「 明治時代以降～ 」としました。

当時の日本人は、日本の絵画はそれほど価値がないと思いこみ、日本の絵画を所有していた人達は、外国人に安価な値段で売却していました。

そのことに危機を感じていた岡倉天心とアメリカ人のフェノロサ（東京大学教授 ）は、東京美術学校（ 現：東京藝術大学 ）の創設に尽力し、あらたな人材の発掘と絵画の教育に取り組みました。

天心は、東京美術学校の初代校長になり、横山大観、下村観山、菱田春草など明治時代を代表する絵師達を育てました。

１．橋本雅邦（ はしもと・がほう ）　（１８３５　～　１９０８年 ）

雅邦は江戸に生まれ、父は川越藩のお抱え絵師でした。

雅邦は、１８８７年に東京美術学校が創立されると教授として招かれ、明治時代を代表する絵師達を育てました。

下記の絵は、雅邦の代表作の一つである「 龍虎図屏風 」（重要文化財）です。

雅邦は、この絵で明暗と奥行きを持つ３次元空間を創出しました。

龍、虎、波、竹、岩など、全ての事物がリアルな陰影を持つように描きました。

更に、風、雨、稲妻等を極めて繊細に描くことにより、リアリティを持たせました。

（ 紙面の都合で、絵は横に圧縮しました ）

１９０４年にアメリカのセントルイスで、万国博覧会が開催されました。
政府の役人は、雅邦にその万国博覧会に日本を代表する絵を是非一枚描いて出品して欲しいと要請しました。
雅邦は、水墨画である「林間残照図」を出品し、欧米の絵画を抑えて見事「最高賞」を獲得しました。
その時代における日本画の実力を、世界に知らしめました。

左記の絵が、「林間残照図」です。
人里離れた山奥の夕暮れ時、うっそうとした木々の間を川が流れています。
墨の濃淡だけで表現された、無限の世界を描きました。
日本画を極めて安価な値段で外国人に売ってしまった日本人達は、さぞ悔しがったことでしょう。

２．横山大観（ よこやま・たいかん ）　（ １８６８～１９５８年 ）
大観は、明治元年に茨城県で、水戸藩主酒井捨彦の長男として生まれました。
その後、東京美術学校の一期生として、橋本雅邦に絵を学びました。

大観は、明治、大正、昭和の３代に渉って活躍し、正に日本を代表する絵師の一人です。
左図は、大観の「 紅葉 」です。
大観の長い画業を通してこれだけ絢爛豪華な大作はほかに例がありません。
本図は、日本画の持つ美くしさを引き立たせ、力強い造形感覚によって絵画の「表現」を究極まで追及しているかのようです。
装飾的と評される理由もそこあるようです。

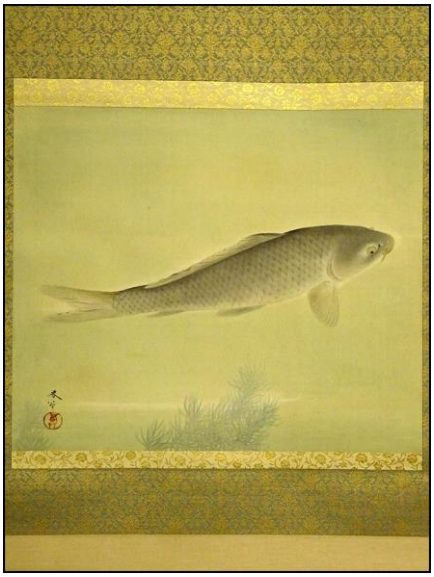
下記の絵は、「 霊峰飛鶴 」です。

大観が富士を描いた絵は、１５００枚を超えると言われていますが、その中で最も広く知られている富士の絵です。
雪化粧の富士の背後から放射される金色の瑞光は宗教的な荘厳さがあり、編隊を組んで飛ぶ鶴の群れは優雅です。
「日本」ということに最後までこだわり続けた画家の晩年の境地を静かに訴えています。
「 富士の名画というものは、昔からあまりない。それは形ばかり写すからだ。
富士の形だけなら子供でも描ける。
富士を描くということは、富士にうつる自分の心を描くことだ。
心とは、ひっきょう人格にほかならぬ。 それはまた気品であり気迫である。」
と、大観は述べています。

左の絵は、「五浦の月」の絵です。
大観は、「 支那にもイタリアにも松はあるにはあるが、五浦とは限らず、御国の松が一番美しい。画家たるものは、この松を写さずにはいられない。 」
と言っています。
中央部分に六角堂が描かれています。
大観はインド、アメリカ、ヨーロッパ等へ旅行していますが、いつも春草と一緒で、二人は大の親友でした。(ちなみに、天心と大観は英語を話すことが出来ました。)
天心は、学生は大学卒業後、本当の勉強は大学院からその探求を深めるべきと

の考えから「 日本美術院 」を１８９８年（ 明治３１年 ）に創立しました。
　東京美術学校の第一回卒業生であった横山大観や菱田春草などが従い、天心の志であった日本美術の伝統と革新への思いの道が始まりました。
　しかし経営難から天心は明治３９年に茨城県五浦の景勝地に移住し、従う者は大観、春草、下村観山、木村武山の４名だけでした。
　太平洋を望む岸壁の先端に六角堂を建て、天心はそこで思索にふけり著書も書きました。
　先の東日本大震災で六角堂は海に流されてしまいましたが、幸い多方面からの尽力や資金の提供もあって、天心当時の形のまま復元されました。
　天心は、大正２年（ １９１３年 ）に５２歳の若さで他界しました。
　その後日本美術院は弟子であった大観に引き継がれ、大正３年（ １９１４年 ）に再興日本美術院として再出発しました。
　天心は自分の邸宅があったこの五浦に日本美術院を移し、近代日本美術の本拠地としましたが、昭和３０年に茨城大学五浦美術文化研究所となり、茨城大学が管理しています。

３．菱田春草（ ひしだ・しゅんそう ）　　（ １８７４～１９１１年 ）
　春草は長野県飯田市に、旧藩士の菱田鉛治の三男として生まれました。
　１８９０年に東京美術学校に入学しました。（ 大観の１年後輩 ）
　春草は、伝統的な日本画の世界に様々な種類の斬新な技法を取り入れ、近代日本画の発展に大いに貢献した画家でした。



　以前、私は熱海にあるＭＯＡ美術館で春草が描いた鯉の絵を観たことがあります。
描かれた鯉は、まるで生きているかのように今にも泳ぎ出すのではないかと思われる程、実物そっくりでした。
左記の絵は、春草の描いた鯉の絵ですが、この絵も私が見た鯉の絵と同様、きわめて精密に描かれています。
春草の観察眼が普通の絵師とはまるで異なるような気がします。
これとは逆に、朦朧体と言われた画法を大観達と考案しました。
　しかし他の絵師達からは酷評され、朦朧体の絵は数年で描かれなくなりました。

左記の絵は、「王昭君図 」です。
朦朧体（ 実線を使わないで描く）の手法で描かれた絵です。
朦朧体と称される絵は、主に風景などが線を使わずに描かれています。
朦朧体で描かれた人物画は、上記の絵くらいではないかと思われます。
上記の絵は、線を使わずに美しい女性達の絵を描いています。

左の絵は、「 梅に雀 」です。
春草が亡くなる１９１１年に描かれました。
春草は、自分も鳥のように自由に羽ばたいて、色々なところを見て絵を描きたかったのかもしれません。
春草は腎臓病を患い、３７歳の誕生日を目前に亡くなりました。
　天心や大観も彼の早すぎた死を嘆き悲しんだそうです。

大観は、春草の才能を高く評価しており、「 私が普通の瓦なら、春草は金の瓦だ 」と春草の才能を高く評価していました。

４．下村観山 （ しもむら・かんざん ）　　（ １８７３～１９３０年 ）
　観山は、１８７３年（ 明治６年 ）に和歌山県和歌山市の紀州藩に仕える小鼓方幸流の能楽師の３男として生まれました。
　１８８９年（ 明治２２年 ）東京美術学校に第一期生として入学し、橋本雅邦に師事しました。（ 横山大観と同期 ）
　卒業後は、天心、大観、草春達と「 日本美術院 」の創設に参加しました。

左の絵は、弱法師（よろぼし）の絵です。（ 重要文化財 ）
画面一面に梅の樹と俊徳丸の姿が印象的に描かれていますが、袖に降りかかる梅の花びらまでも仏の施行と感じる俊徳丸の悟りの境地がこの作品の主題です。能の小鼓奏者の家に生まれた観山は、能面を思わせる俊徳丸の面影と共に能楽的情緒を画面いっぱいに表現しました。

下記の絵は「 天心岡倉先生画稿 」です。
日本美術院の創設者、天心岡倉覚三をモデルとした肖像画は、創立２５周年を記念した１９２２年の第９回再興院展に出品され、亡き師を偲んで描かれた遺影です。その出品作は惜しくも翌年の関東大震災で焼失しましたが、幸いにもこの草稿が残されていました。

天心は、良き弟子達を持って、幸せだったのではないかと思われます。
天心は、日本画の再生に積極的に取り組みましたが、残念ながら５１歳の若さで、亡くなりました。
天心は、明治３７年（１９０４年）　にアメリカのボストン美術館に迎えられ、中国・日本美術部長として東洋の美術品の体系的な収集に力を注ぎました。

万歩会の想い出

檜山　邦良（昭 30 学機）

１　まえがき

史跡・万歩会(以下、万歩会と云う)は、三幣正人（24 機械）支部長の発起により、平成 9 年度に発足してから、第 127 回、約 25 年余を以って終了いたしました。

万歩会の業績は、千代和彦　第 3 代万歩会長により、本支部会報の前号で、詳しく述べていただきました。私から、特に書きおきたいことはありません。万歩会を熱情を以って育成されました諸先輩の方々には、残念ながら終了となりましたが、万歩会が無事に終了できたことは目出度く思っています。

２　万歩会終了の理由

２．１　参加者の減少

ここ数年の実績を表１に示しましたが、ここ数年の参加人数を見ても増加の見込みはみられません。

表１　万歩会の参加

回次	年　月　日	主なる行き先	人数	参加率%
118	H30.04.05	千葉市自然公園	5	6.7
119	H30.07.04	大賀蓮発祥の地	8	10.8
120	中止			
121	H30.11.07	臼井城址	6	6.8
122	H31.01.14	中山法華寺	7	―
123	H31.04.03	佐倉城址	5	6.7
124	R1.06.05	久留里城	5	6.8
125	R1.09.04	成東	4	5.4
126	中止			
127	R02.01.03	市川、法華寺	6	9.6

表２は令和３年度における千葉県支部会員の卒業年次分布を年齢に換えて示した。(卒業年次では、体力のイメージが判り難いので、卒年度を年齢(概略)に直しました。)

現員数は令和３年度会費納入者をもとに、年齢層別に区分して示しました。万歩会の年齢層は、75 歳以下から急激に会員数の低下が目立ちます。この原因はよくわかりませんが、わが国の同窓会の現況は出席率の低下の傾向があり、若者の間では、クラス会には出席するが、同窓会には出ないと云う傾向があるそうで、その表れかと思います。

表２　千葉県支部会員の年齢層

年齢層(歳)	卒業年度(昭和)	人数	%
８６～９０	３０～３４	８	１２
８１～８５	３５～３９	１８	２９
７６～８０	４０～４４	１６	２５
７１～７５	４５～４９	４	６
６６～７０	５０～５４	４	６
６１～６５	５５～５９	９	１４
～６０	６０～	３	９

３　わが国のハイキングの状況

ここで、わが国におけるハイキングの年齢層別に年間の実情を知るために、資料を求めていたところ、年間の平均行動日数と年齢行動者率（人口に占める過去 1 年間に登山・ハイキングを行った人の割合）について、表３の総務省報道資料登山・ハイキングの状況報告　平成 28 年 8 月 10 日（以下、総務省資料と云う）がありました。年齢 5 歳階級別スポーツの行動者率を表で示してあります。

表３　年齢 5 歳別スポーツ種日の行動順位 総務省

年齢	1 位	2 位	3 位
55～59	ウオーキング・軽い体操	ゴルフ	登山・ハイキング

60～64	ウオーキング・軽い体操	登山・ハイキング	ゴルフ
65～69	ウオーキング・軽い体操	登山・ハイキング	ゴルフ
70～74	ウオーキング・軽い体操	登山・ハイキング	器具を使ったトレーニング
75 以上	ウオーキング・軽い体操	器具を使ったトレーニング	登山・ハイキング

この総務省資料の一部の年齢 55 歳級からをここに示したのが表３です。この表から、６０歳から７５歳以上での第１位は、「ウオーキング・軽い体操」が占めています。登山・ハイキングは６０歳～７４歳で第２位、表３の５４歳以下については、万歩会年齢層に関係ないので、省略させていただきました。

この表で、万歩会は「登山・ハイキング」の登山は含まないので、参考にとってください。

万歩会のハイキングは、登山が含まれないので、厳密には表３の登山・ハイキングの類ではないが、万歩会の難度は、これよりも容易なものとして、参考にしたいと思います。

表３の総務省のスポーツ種目の行動者率は、６０歳～７４歳で登山・ハイキングは、ウオーキングに次いで第２位、７５歳以上では第３位で、60 歳を超した初老から古老に至るまで、歩くことが他のスポーツよりも行われていることが報告されていて意外でした。この報告から万歩会の発想は間違ってはいなかったと思います。

【用語】
行動者率：人口に占める過去１年間に、登山・ハイキング又は登山を行なった人の割合

この報告の登山・ハイキングを行った人についは、その状況がくわしく述べられています。ここで、個々の報告を引用して述べるより、総務省資料をコピーしてお届けしたほうが、判りやすいと思いますので、本稿の末尾に綴じましたので、ご覧下さい。

４　終わりに

万歩会の終わりに当たって、収束ばかりの記事で終わることは、残念に思うので、万歩会の華やか成りし頃の写真を掲げて閉じたいと思います。

この写真は、万歩会の盛んな頃の写真で笠森観音堂前にて撮った写真を掲げました。この写真の最前列右端に腰掛けているのは、元原動工学科教授の槌田先生です。

先生は東京にお住まいで、わざわざ万歩会に参加されていましたが、間もなく病気のため、東京女子医科大病院に入院され、残念ながら急逝されました。

以上

≪第 17 回万歩会（平成 12 年 7 月 9 日）笠森寺観音堂前にて≫

報道資料

くらしの中に
総務省
MIC Ministry of Internal Affairs and Communications

平成28年8月10日

統計トピックスNo．96

登山・ハイキングの状況

ー「山の日」にちなんでー

（社会生活基本調査の結果から）

社会生活基本調査は，国民の生活時間の配分及び自由時間における主な活動について調査し，各種行政施策の基礎資料を得ることを目的に，昭和51年の第１回調査以来５年ごとに実施している統計調査で，本年10月に，「平成28年社会生活基本調査」を実施します。

「山の日」（８月11日）を迎えるに当たって，前回（平成23年）の社会生活基本調査の結果から，登山・ハイキングの状況について紹介します。

要　約

1　登山・ハイキングを行った人の状況

○　**行動者率は，男性は65～69歳，女性は60～64歳で最も高い**

○　**今も昔も，行動者率は，「団塊の世代」を含む昭和17～26年生まれの人が高い**

2　地域別の状況

○　**行動者率は，東京都が最も高く，関東及び近畿で高い傾向**

【用語】

○行動者率…人口に占める過去１年間に登山・ハイキングを行った人の割合（%）

○平均行動日数…登山・ハイキングを行った人について，平均した過去１年間の行動日数

1 登山・ハイキングを行った人の状況

行動者率は，男性は65～69歳，女性は60～64歳で最も高い

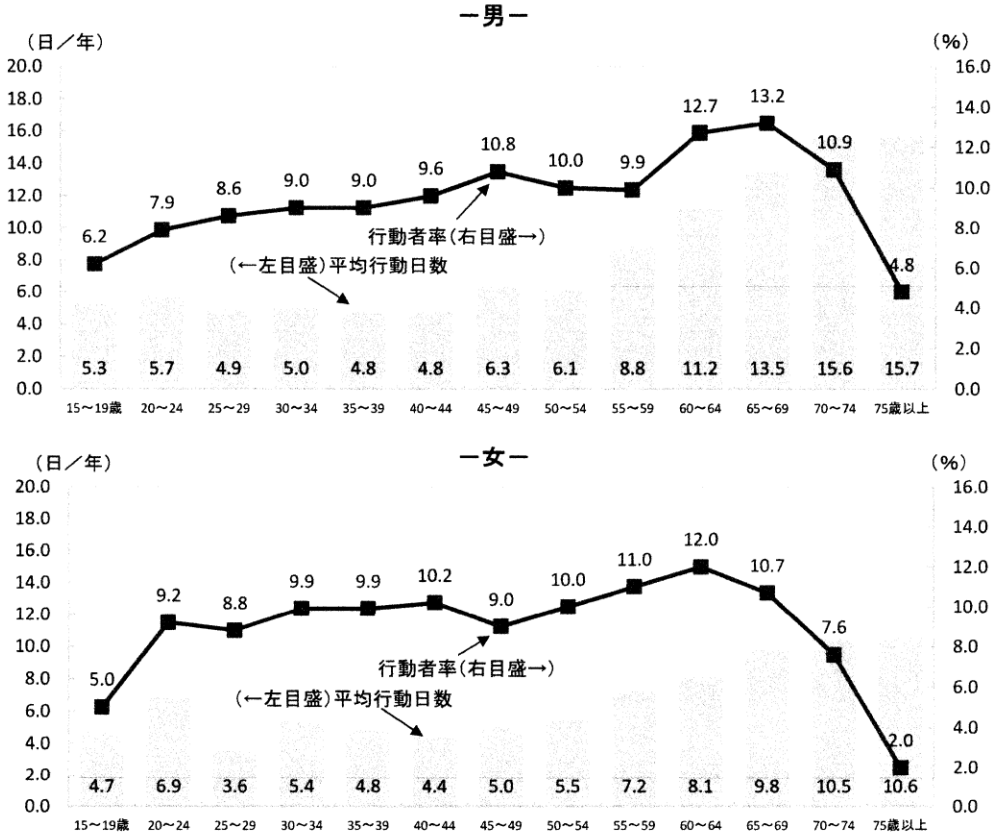
15 歳以上の「登山・ハイキング」の行動者は 972 万７千人で，行動者率は 9.0%となっています。男女別にみると，行動者数は男性が 494 万５千人，女性が 478 万２千人となっており，行動者率は男性が 9.4%，女性が 8.6%で，男性が女性より 0.8 ポイント高くなっています。

男女，年齢５歳階級別に「登山・ハイキング」の行動者率をみると，男性では 65～69 歳が 13.2%と最も高く，次いで 60～64 歳が 12.7%，女性では 60～64 歳が 12.0%と最も高く，次いで 55～59 歳が 11.0%となっています。

このうち，男女ともに行動者率が 12.0%以上となる 60～64 歳は，いわゆる「団塊の世代」(昭和 22 年～24 年の第一次ベビーブーム期に出生した世代)を含む年齢階級に当たります。

平均行動日数は，男女ともに 75 歳以上が最も多く，50 歳代以降，歳を重ねるにつれて増加しています。(図１)

図１ 男女，年齢５歳階級別「登山・ハイキング」の行動者率と平均行動日数（平成 23 年）



囲碁会の活動報告と今後の予定

囲碁会長　佐藤隆義（ 昭４０学化 ）

１．囲碁会の活動報告

囲碁会は、千葉県支部をはじめ、東京支部、埼玉支部及び会友（ 佐原高校出身者 ）の方々が会員になっており、年に４回船橋中央公民館で懇親囲碁大会を開催しています。

昨年度は、第８７回～第９０回の囲碁大会を開催する予定でしたが、コロナウイルスによる感染が拡大したため、残念ながら全ての大会を中止しました。

コロナウイルスは次々に新型が現れ、感染を拡大していますので、いつ感染が終息するのか予測出来ません。

今年もとりあえず、下記の囲碁大会を計画しました。

・今年度の囲碁大会開催予定

第８７回	囲碁大会	２０２３年	４月２５日（火）	船橋中央公民館
第８８回	囲碁大会	２０２３年	７月２５日（火）	船橋中央公民館
第８９回	囲碁大会	２０２３年	１０月２４日（火）	船橋中央公民館
第９０回	囲碁大会	２０２４年	１月２３日（火）	船橋中央公民館

今年度は、コロナウイルスによる感染が大幅に減少し、何とか囲碁大会が開催出来るような環境になることを願っています。

現在私は、多賀工業会千葉県支部囲碁会、茨城大学囲碁部ＯＢ会、会社時代の囲碁部ＯＢ会等６つの囲碁会に在籍していますが、コロナウイルスによる感染拡大により、ここ３年程全ての囲碁会が休業状態に陥っています。

私は以前「日本郵便碁愛好会」の会員になっていました。

郵便葉書により、一手ごとにお互いに着手を交換し合っていくのですが、相当長い時間がかかりますので、私は郵便碁はやらずに年４回の囲碁大会にだけ参加していました。（ 於・東京八重洲口「 いずみ囲碁ジャパン 」 ）

A～E クラスまで 5 クラスに分かれて、囲碁大会が行われていました。

参加者はいつも１００名前後でした。（ 女性もかなり参加していました ）

私はもちろん A クラスで参加しましたが、何度か優勝したこともあります。

しかし、残念ながら会員が年々高齢化し、会長になる人がいなくなりましたので、残念ながら数年前に日本郵便碁愛好会は解散されました。
その流れを汲んで千葉県に「海ほたる会」という囲碁同好会が誕生しました。
（ 誕生当時、私は幹事の一人でした ）
この会は、現在も続いています。（ 年３回開催、津田沼囲碁クラブで開催 ）
大会が終わった後は、いつも近くの居酒屋で懇親会（いつも２０名以上参加）が開かれていましたが、残念ながらここ３年ほどは中止になっています。

２，日本のプロの囲碁界の動向

日本のプロの囲碁の世界では、現在７大棋戦のタイトル保持者がいます。
一力遼・棋聖（２５歳）、芝野虎丸・名人（２３歳）、井山裕太・本因坊、王座、碁聖（３冠、３３歳）、関航太郎・天元（２１歳）、許家元・十段（２５歳）。
この中で、井山裕太九段だけが３０代で、他の４人は全て２０代です。
井山九段は、以前七冠全てを保持していましたが、若手の棋士が台頭してきましたので三冠に退きました。
しかし、今でも第一人者であることには変わりません。
若手（特に２０代）の棋士がこれほどまでに台頭してきましたのは、ＡＩによる影響が大きいと思います。
若手の方が年配者よりもＡＩの手法を上手に取り入れて実戦で活用していますので、年配者よりもかなり有利な状態にあるのではないかと考えられます。
一方女流棋士の方は、藤沢里奈女流本因坊（五段、２４歳）と上野愛咲美女流棋聖（四段、２１歳）が活躍していましたが、ことしの２月１６日に行われた女流棋聖戦３番勝負で仲邑菫（三段、１３歳１１か月）が上野愛咲美女流棋に２勝１敗で勝利し、女流棋聖のタイトルを奪取しました。
今までは、藤沢里奈女流本因坊の１５歳９か月が最年少記録でした。
中学生でタイトルを保持した棋士は、男女合わせても仲邑菫棋士だけです。
仲邑三段の父親は、日本棋院棋士の仲邑信也九段で、菫棋士の先輩でもあります。
藤沢女流名人、上野女流棋士及び仲邑女流棋聖は、男性棋士と実力的にはほぼ互角に近い棋力があります。
近い将来、上記女流３棋士の中から、上記７大タイトルの１つを獲得することも夢ではありません。

史跡・万歩会の活動報告

史跡・万歩会　会長：千代和彦　（昭 40 学精）
副会長：萩野谷道雄（昭 41 学機）

１　活動報告

［期間：令和４年３月～令和５年２月迄］

令和４年度の史跡・万歩会活動は、第 128 回『西印旛沼周遊コースのサイクリング』（実施予定日：6 月 15 日）、第 129 回『養老川流域田淵のチバニアン地層の見学』（実施予定日：8 月 30 日）、第 130 回『醤油の里・野田を訪ねて』（実施予定日：10 月 19 日）を予定していました。しかし首都圏（東京都・神奈川県・千葉県・群馬県）は新型コロナウイルスによる感染拡大（第７波・第８波）に見舞われ、移動制限及び団体行動制限等の規制が提示されました。又参加者が全員後期高齢者である為、誠に残念ですが安全を考慮して前年度に続き活動を取り止めにしました。従って 2021 年～2024 年の 3 年間は、コロナウイルスによる感染拡大の為に、史跡・万歩会の活動は全て中止になりました。

今回計画したコースは

(1) **第 128 回『西印旛沼周遊コースのサイクリング』**を選んだのは、同好会の名称である史跡・万歩会の様に会員の健康のため約 1 万歩歩くことを目標に史跡巡りをすることでありました。しかし参加者が年々高齢化し 80 歳を超える状況になり、歩ける距離も約 4～5ｋｍとなりました。そこで初めて試みるサイクリング方式を取り入れて選択した場所が『西印旛沼周遊コース』（1 週 15ｋｍ）でした。ここは万歩会でかつて訪れた佐倉城址公園（JR・京成佐倉駅）及び臼井城址公園（京成臼井駅）の近くで、なじみのある場所で最寄りの駅近くにレンタルサイクル（電動式）があるので選択しました。

印旛沼を背景にした京成線沿線の連続した京成臼杵駅〔戦国時代・臼杵城跡〕・京成佐倉駅〔江戸幕府・佐倉城跡〕・大佐倉駅〔戦国時代・本佐倉城跡（千葉氏)〕は千葉県の史跡として訪れたい場所です。

(2) **第 129 回『養老川流域田淵のチバニアン地層の見学』**は皆様がたもご存知の通り 2020 年 1 月 17 日、千葉セクションは前期更新世と中期更新世の境界を示す「国際境界模式層断面及び地点：GSSP」 に認定されました。地質年代は所在地の千葉の名称にちなんで「チバニアン」と命名されました。日本の地名が地質年代に採用されたのは初めてで、この快挙を牽引したのが、国立極地研究所の菅沼悠介准教授、茨城大学の岡田誠教授です。茨城大学創立 70

周年記念講演で岡田教授の「チバニアン」講演を拝聴したこともあり、計画コースに組み込みましたが残念ながらコロナ騒動で中止にしました。

(3) **第 130 回『醤油の里・野田を訪ねて』**を選んだのは千葉県の産業として醤油生産量は野田のキッコーマン醤油及び銚子のヤマサ醤油・ヒゲタ醤油等で日本一を占め、4 割近いシェアがあります。その生産地は銚子と野田であり、江戸初頭から生産が始まりました。もともと醤油の発祥地は紀州であり、江戸初期の醤油の大半は関西方面からの「下り醤油」であったといいます。江戸中期ごろから醤油仲間（業界団体的なもの）を結成して、価格統制・品質向上・生産の調整などを行いました。更に巨大消費地・江戸に近く、利根川や江戸川などの水運に恵まれていたこと、そして近隣で原料の大豆・小麦の生産が盛んで調達しやすかったことなどから関東醤油が本格的に供給されるようになりました。千葉県主要産業の醤油工場の街「野田」は戦災に遭わず歴史的な建物・庭園・博物館資料等が残っており、千葉県の歴史を学びながら静かに散策できる街です。

以上第 128～130 回のコースはコロナウイルス騒動で中止としましたが、各人が機会があれば訪れてみてください。

2　今後の予定

史跡・万歩会同好会の解散は令和 4 年 11 月 16 日の幹事会において承認されました。従って令和 5 年度の史跡・万歩会の予定は除外しました。

解散の理由：同好会の参加者の高齢化（80 歳以上）及び参加人数の激減並びに現在の会長・副会長が 80 歳以上になり、体力が衰えてきています。
尚、後を継いでくれる若手の交代要員が入会してくれません。従って解散も余儀なくなりました。

今後、何方か再開される方が出てくれることを願っています。

ゴルフ会の活動報告

前ゴルフ会長　富田宣吉　（昭３７学化）

ゴルフ会は東京、埼玉、千葉県支部の３支部合同にて実施しています。

年間４回（３月、６月、９月、１１月）開催しています。東京、千葉県支部は紫カントリークラブ、埼玉支部は坂東クラブ、リバーサイドカントリークラブを会場としています。

令和４年度の参加者は各回９～１１名でした。以前に比べて少ないですが、コロナが収束すればもっと賑やかになるものと予想しています。

プレイも楽しみですが各支部の皆様との情報交換や昼食時のおしゃべりが楽しみです。若い方の参加者が増えればより楽しいコンペになると思います。

三支部ゴルフ大会の令和４年度成績表（優勝者、２位者、３位者）

開催月日	ゴルフ場	担当支部	参加人数	優勝者	２位	３位
3 月 25 日	坂東 GC	埼玉	９名	大武康男（埼玉支部）	福田信義（埼玉支部）	上田正雄（埼玉支部）
6 月 3 日	フレンドシップ	埼玉	10 名	青野潔（東京支部）	富田宣吉（千葉県支部）	森俊和（埼玉支部）
9 月 30 日	紫 CC	東京	11 名	青野潔（東京支部）	岡部憲昭（埼玉支部）	佐藤将彦（東京支部）
12 月 2 日	紫 CC	千葉県	11 名	冨田瑞穂（東京支部）	佐伯豊（東京支部）	大武康男（埼玉支部）

会員近況報告

支部長　富田 宣吉（昭３７学化）

（令和３年度千葉県支部総会に関連して返信はがきを頂いた方々の情報を紹介します。）

卒年・学科	氏　　名	近　　況
昭２４専舶	草刈　菫	９２歳ですがマスターズ陸上競技の現役選手として千葉県記録に挑戦中です。（社）倫理研究所の文化部に所属し、書道・短歌の講師として千葉県下幾つかの教場を受け持って働いて居ります。
昭２５専電	塚越　要夫	一応元気ではありますが同窓会行事の出席は高齢につき見合わせます。
昭２６専金	岡安　孝倢	お世話になります！！今後ともよろしくお願いします！！
昭２８学機	関田　達雄	昨年より老人ホームに入所のため今後の参加はできません。宜しくお願いします。（代筆長女）
昭２９学原	北村　健	お蔭様でなんとか毎日元気に過ごしております。
昭３０学機	檜山　邦良	遂に９０歳の坂を上りました。これから下り坂を走り脚力が問題です。皆様に追いついて行けるよう頑張ります。
昭３０学機	高岡　厚	
昭３４学電	高橋　孝雄	送付遅れ恐縮です。
昭３５学金	舟橋　叡	会の運営ご苦労様です。新会員が増えて活性化するよう期待しております。
昭３６学金	小室　哲夫	
昭３６学金	関谷　廣	社会保険労務士業を営んでいます。
昭３６学電	高橋　保雄	朝の散歩を心掛けています。
昭３６短機	栗田　俊	園芸サークルを脱退しました。今はコロナ禍で巣ごもりしています。
昭３８学精	矢嶋　國男	十分歳をとりました。若い人達が増えるよう祈っています。役員の方々に心から感謝いたしております。ご活躍を期待しています。
昭３８学精	市村　敬司	富田さん支部長代理ご苦労様です。お手伝い出来ず申し訳ありません。年齢なりの体調にて何とか頑張っております。

卒年・学科	氏　　名	近　　況
昭３８学化	石橋　英男	女房が認知症の為、洗濯・掃除・炊事に加え介護で大変です。支部の運営にお手伝い出来ず申し訳ありません。役員の皆様大変でしょうが歴史ある千葉県支部の為ご尽力をお願いします。
昭３８学電	綿引　貞男	
昭３８学機	駒場　方耀	
昭４１学金	嶋田　善秀	
昭４１学機	萩野谷道雄	
昭４１学機	高橋　邦彦	特になし
昭４１学精	仲田　光雄	元気です。
昭４１学化	柴　　勇	今年度限り退会します。役員の方々長い間有難うございました。
昭４２学機	新實　千冬	コロナ禍に負けず、ひっそりと過ごしています。
昭４９院機	北村　悦夫	
昭４９院化	松本　茂	
昭５２学機	岩瀬　幸男	６４歳で会社を退職して３年になります。無職です。支部活動を支えておられる役員の皆様には感謝しております。小生、会費納入しかできませんが、支部活動が続くことを願っています。今後も支部会員とのご縁を大切にしたいと思います。
昭５２院化	高木　茂	
昭５５院電	丸島　國義	盛会をお祈り致します。
昭５５院機	曽根　勉	コロナ禍の収束・終息を願っています。
昭５９学機	長澤　武	何時も運営頂きありがとうございます。
昭６３学機	佐藤　敏哉	
平３学短機	井坂　政美	

訃報

昭３８学電　兼子八郎　　令和５年１月２日逝去
昭２８学金　税所　裕　　令和４年１１月逝去

謹んでご冥福をお祈りいたします。

編集後記

金坂　潤（昭 47 学電）

今号は、総頁数で 60 頁となりました。皆様のご協力により多くの方々からご寄稿をいただき、紙面も充実できました。ありがとうございました。

皆様におかれましては、相変わらずのコロナ禍のもと、物価の上昇などが続き大変な日々をお過ごしのことかと推察いたします。

いろいろと心配ごとがありますが、なんとか凌いで行くしかないようです。

小生、近くに公園がありますのでときどき散策しております。 公園の一角に図書館の建設予定地があり、現在工事中です。 以前は銀杏やポプラの大木が多数生えていたのですが大方伐採され、この木一本だけが残りました。大変運の良い木だと思います。

この日は、入り口から少し歩いたところにある野原には、人っ子一人居ませんでした。

森に入ると、束の間ではありますが日常を離れたようで、どこか懐かしい。

薄暗がりの小道を歩いて行くと池の畔に出ました。

森から出たときには、森の木々から何か頂いたような気がします。

皆様もご健康にお気を付けなさり、好きな事を楽しみながらお過ごしください。

なお、当支部では、会報の記事として会員の皆様の投稿をお待ちしております。体験談や随想などご気軽にお送り下さい。（2023. 3）

令和４年度会費納入者

卒年学科	氏　名	卒年学科	氏　名	卒年学科	氏　名
昭２４専船	草刈　堇	昭３８学電	兼子八郎	昭４４学精	日置和夫
昭２５専電	塚越要夫	昭３８学電	綿引貞男	昭４８院化	沼倉研史
昭２６専金	岡安孝健	昭３８学精	市村敬司	昭４９院化	松本　茂
昭２９学原	北村　健	昭３８学精	矢嶋國男	昭４９院機	北村悦夫
昭３０学機	檜山邦良	昭３８学化	石橋英男	昭４７学電	金坂　潤
昭３０学機	高岡　厚	昭３９学電	高崎芳紘	昭４８学電	渡邊和夫
昭３２学金	穂坂邦光	昭４０学精	川野辺建	昭４９学金	宮内賢一
昭３４学電	高橋孝雄	昭４０学精	千代和彦	昭５０学機	大貫俊夫
昭３５学金	船橋　叡	昭４０学化	荻原幹士	昭５２学機	岩瀬幸男
昭３５学機	原田武保	昭４０学化	佐藤隆義	昭５３学精	八木純明
昭３６学金	関谷　廣	昭４１学機	高橋邦彦	昭５５院機	曽根　勉
昭３６学金	小室哲夫	昭４１学機	萩野谷道雄	昭５５院電	丸島國義
昭３６学電	高橋保雄	昭４１学電	木村　保	昭５６学電	中村祥孝
昭３６短機	栗田　俊	昭４１学金	嶋田善秀	昭５６学精	平野茂木
昭３７学電	遠藤芳勝	昭４１学化	柴　　勇	昭５７学情	岡田庸子
昭３７学化	富田宣吉	昭４１学精	仲田光雄	昭５９学機	長澤　武
昭３７学電	佐藤哲雄	昭４２学機	新実千冬	昭５９学情	狩野　宏
昭３８学機	加瀬勝弘	昭４２学金	小薗井健	昭６３学機	佐藤敏哉
昭３８学機	高見忠彦	昭４３学電	岡田猛彦	平３　短機	井坂政美
昭３８学機	駒場方耀	昭４４学電	梅田毅明	平５　学建	山本敏弘

会費を納入いただき感謝いたします。　　合計 60 名

＜ 支部活動へのご協力のお願い ＞

＊＊＊ 年会費（年２０００円、振込形式）の支払い協力のお願い ＊＊＊

年会費は、千葉県支部会報発行費用（印刷代、会員への配送料など）の主たる財源、となります。そのほかに、同好会への補助金、会運営費用が含まれます。　今後の支部活動の充実化のため、皆様の会費納入のご協力ぜひともお願いする次第です。

多賀工業会千葉県支部役員・役割・連絡一覧表

令和５年３月１日現在

氏　　名	役　　割
富田　宣吉	支部長兼会計
千代　和彦	幹　事　長
高崎　芳紘	副支部長兼ゴルフ会長
高橋　邦彦	副 支 部 長
佐藤　隆義	副支部長兼囲碁会長
金坂　　潤	名簿･広報(会報,HP)
萩野谷道雄	総務・企画
高橋　孝雄	監　　事
綿引　貞男	監　　事
塚越　要夫	顧　　問
檜山　邦良	〃
穂坂　邦光	〃

（個人情報保護のため一部削除しました。）

多賀工業会千葉県支部のホームページ　URL：http://chiba.tagakgk.com/

《お願い》会報の記事として、「支部活動の情報提供」以外に、会員便りを広げた「体験談や随想など」を投稿できる広場を考えております。内容は「日常の想い・近況談・旅行記・随想その他何でも」です。ご提供できるものがあれば、次のメールアドレスに送信して下さい。電子メール；kanesaka@jc4.so-net.ne.jp
（郵送される場合は、上記役員の広報担当；金坂潤宛てにお送りください。）

表紙写真『旧神谷傳兵衛稲毛別荘』（千葉市稲毛区稲毛１丁目）
説明：　浅草の神谷バーや電気ブランで有名な実業家・神谷傳兵衛の別荘として、大正７年に建てられた洋館です。稲毛が海辺の保養地だった頃の記憶を物語る建物としても価値があり国の登録有形文化財にも指定されています。

発行日 令和５年 ４月 ５日